



ツーリズム EXPO ジャパン 2024

2024年9月26日(木)～29日(日) 東京ビッグサイト

わくわくは、無限だ。

TOURISM EXPO JAPAN 2024

—旅、それは新たな価値との遭遇—

[出展者数] 世界 **80** 力国・地域

1,384 企業・団体

[来場者数] 合計 **182,934**人

9月26日(木)／業界・プレス日

36,459人

9月28日(土)／一般日

54,869人

9月27日(金)／業界・プレス日

35,359人

9月29日(日)／一般日

56,247人

[主 催] 公益社団法人日本観光振興協会／一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)／日本政府観光局 (JNTO)



ツーリズムEXPOジャパン2024 日本のツーリズムの復活を世界に向けて発信 182,934人が来場

公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）は「ツーリズムEXPOジャパン2024（TEJ2024）」を2024年9月26日（木）から29日（日）に東京ビッグサイトで開催。10回目となった2024年は「旅、それは新たな価値との遭遇」をメインテーマに、海外80カ国・地域、国内47都道府県から1,384の企業・団体が出展し、会期中の来場者数は182,934人を記録しました。岸田文雄首相（当時）がビデオメッセージを寄せ、「観光は日本の成長戦略の柱であり、地域活性化の切り札。訪日旅行が旅行者数、消費額ともに好調で地域の持続的な成長にも資する一方で、海外旅行の回復は道半ば。次世代を担う青少年による双方向交流の促進など、今回のイベントも拡大の一歩になるだろう」と述べられました。

9月26日（木）、27日（金）の業界日のフォーラム＆セミナーは、コロナ禍を経た旅行者の変化を受けて新たな価値をどう生み出すかに焦点を当てながら、地域の持続可能性の発展について知見を共有。基調パネルディスカッションは「観光交流人口の拡大」をテーマに送客と受け入れ、双方からの視点で有識者が議論。9カ国と4団体の国際観光機関トップが集った第7回TEJ観光大臣会合では、未来を見据えた旅のカタチの最前線について意見交換しました。テーマ別シンポジウムも、国内、海外、訪日の本質を見直す内容となりました。

商談会においては、736人のバイヤーと1,050人のセラーが参加し、事前アポイント制による6,239セッションの商談会が行われました。展示会では出展数が1,624小間となり、そのうち海外が4割を超え、日本の海外渡航自由化から60周年の記念となる年に復活に向けた熱い期待を印象付けました。

次回のTEJは2025年9月25日（木）から28日（日）に愛知県で初めて開催されます。旅行分散化への対応、中部セントレア空港をゲートウェイとしたさらなる国際化、度重なる災害に見舞われた北陸地方とのタッグによる息の長い復興に向けたアクションが期待されます。



左から：日本政府観光局（JNTO）理事長 蒲生篤実、ツーリズムEXPOジャパン2024スペシャル・サポーター 山口智子さん、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）会長 高橋広行、公益社団法人日本観光振興協会 理事長 最明仁

■ツーリズムEXPOジャパン 実績

2023年（大阪・関西）		2022年		2020年（沖縄）	
出展者数	世界70カ国・地域／国内46都道府県 1,275企業・団体	出展者数	世界78カ国・地域／国内47都道府県 1,018企業・団体	出展者数	世界30カ国・地域／国内28都道府県 285企業・団体
来場者数	10/26（木）：業界・プレス日 23,071人 10/27（金）：業界・プレス日 26,089人 10/28（土）：一般日 48,305人 10/29（日）：一般日 50,597人 合計 148,062人	来場者数	9/22（木）：業界・プレス日 24,794人 9/23（金）：業界・プレス日 18,811人 9/24（土）：一般日 40,483人 9/25（日）：一般日 39,986人 合計 124,074人	来場者数	10/29（木）：業界・プレス日 2,197人 10/30（金）：業界・プレス日 2,438人 10/31（土）：一般日 9,094人 11/1（日）：一般日 10,445人 合計 24,174人
2019年（大阪）10/24（木）～10/27（日）		2018年 9/20（木）～9/23（日）		2017年 9/21（木）～9/24（日）	
出展者数	世界100カ国・地域／国内47都道府県 1,475企業・団体	出展者数	世界136カ国・地域／国内47都道府県 1,441企業・団体	出展者数	世界130カ国・地域／国内47都道府県 1,310企業・団体
来場者数	合計 151,099人	来場者数	合計 207,352人	来場者数	合計 191,577人
2016年 9/22（木）～9/25（日）		2015年 9/24（木）～9/27（日）		2014年 9/26（金）～9/28（日）	
出展者数	世界140カ国・地域／国内47都道府県 1,181企業・団体	出展者数	世界141カ国・地域／国内47都道府県 1,161企業・団体	出展者数	世界151カ国・地域／国内47都道府県 1,129企業・団体
来場者数	合計 185,844人 ※広域イベントJAPAN NIGHT（日本橋エリア）一般来場者は別途15,200人	来場者数	合計 173,602人	来場者数	合計 157,589人

ツーリズムEXPOジャパン 2024 4つの事業

① 展示商談会

展示出展数：1,624小間、1,384企業・団体（トラベルソリューション展2024を含む）
「旅、それは新たな価値との遭遇」をテーマに、「星空ツーリズム」「ドライブツーリズム」「テーマ型観光地展」などの特集企画展をさらに強化！
商談会登録者数：セラー1,050人、バイヤー736人 商談セッション数：6,239セッション
出展者のビジネス効果を追求する展示商談会を2日間開催

② フォーラム＆セミナー

“新たな旅の創造”をテーマに世界の観光分野のトップリーダーが集結！
国連世界観光機関（UN Tourism）と連携した第7回TEJ観光大臣会合、基調パネルディスカッション、テーマ別シンポジウム、ツーリズム・プロフェッショナル・セミナーを開催

③ 交流事業

開催初日の「WELCOME RECEPTION」では、ビジネスネットワーキングの創出はもちろん、能登地方の「御陣乗太鼓」（ビデオ上映）、インドの「カタカリ・ダンス」を披露

④ 顕彰事業

ツーリズムの発展・拡大に貢献した、国内・海外の団体・組織・企業・個人の持続可能で優れた取組を表彰する第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」表彰式を開催

相乗効果を生み出す連携イベント

合同開催：VISIT JAPAN トラベル&MICE マート 2024（VJTM2024） 主催：日本政府観光局（JNTO）
海外の訪日取扱旅行会社（35カ国・地域、275社）と日本各地の観光関連事業者（300社・団体）が一堂に会し、商談会（9月26日～28日）を実施（商談実績：8,296セッション）
共同開催：トラベルソリューション展2024 共催：日本経済新聞社
新時代の観光ビジネスを支える企業・DX関連サービス企業や団体が集結（9月26日・27日／48企業・団体）

Pick Up!

ツーリズムEXPOジャパン2024のスペシャル・サポーターに俳優の山口智子さんが就任！

ツーリズムEXPOジャパン2024では、俳優の山口智子さんがスペシャル・サポーターに就任。山口さんは「世界で一番旅が好き。2010年からは10年かけて世界を旅し、美しい音楽文化をライブラリーに収める『LISTEN.』というプロジェクトを立ち上げ、音楽と旅の魅力を発信しています。スペシャル・サポーターとして参加でき、とてもうれしい」と主催団体記者会見で意気込みを語った。
会期中はWELCOME RECEPTIONに登壇、一般日にはトークイベントを行った。



主催団体記者会見で意気込みを語る山口智子さん



「CO₂ゼロMICE®」 Powered by JTBコミュニケーションデザイン
本展示会の会議棟で行われたプログラムに関しては、「グリーン電力証書」を利用し、CO₂が排出されない再生可能エネルギーを使用して開催いたしました。

開会式

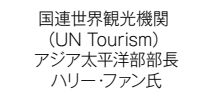
9月26日 (木) 9:30~10:00
東京ビッグサイト 会議棟7F 国際会議場



公益社団法人日本観光振興協会
会長 菰田 正信



観光庁長官
萩川 直也氏



国連世界観光機関
(UN Tourism)
アジア太平洋部部長
ハリー・ファン氏



岸田文雄首相(当時)は「観光は成長戦略の柱であり、地域活性化の切り札。自然や文化の保全と観光の両立を図られるよう、地方への誘客促進やオーバーツーリズムの未然防止・抑制に努めていきたい」とメッセージを寄せた

世界最大級の旅の祭典、革新と進化を象徴する場に ツーリズムEXPOジャパン2024、2年ぶりに東京で開催

開会式では、主催団体を代表して日本観光振興協会の菰田正信会長が「訪日・国内旅行が順調に回復しているのに加え、海外渡航自由化60周年を迎える今回のTEJは海外からの出展が4割を超え、日本市場への熱い期待を実感した。一方で旅のチカラによって、能登をはじめとした被災地域の復興にも取り組んでいきたい」と語ったのに続き、岸田文雄首相(当時)が「観光は日本の成長戦略の柱である」と力強いビデオメッセージを寄せた。来賓では観光庁の萩川直也長官が「まさに世界最大級の旅の祭典。このエキスポが日本のみならず、世界の観光をより発展させる機会になることを期待している」と挨拶。

来日した国連世界観光機関(UN Tourism)のハリー・ファン・アジア太平洋部部長は、「TEJは日本が観光業の未来を示し、革新と進化を象徴する場だ」と強調。東京都の小池百合子知事もメッセージを寄せ、「各地の素晴らしさ、多様な人との出会いが新たな価値を生み出していく。活気あふれる社会を作り出していこう」と呼びかけた。

【登壇者】

ご来賓：観光庁長官 萩川直也氏／国連世界観光機関(UN Tourism) アジア太平洋部部長
ハリー・ファン氏／世界旅行ツーリズム協議会(WTTC) アジア・太平洋地域
マネージング・ディレクター リズ・オルティゲラ氏

主催者：公益社団法人日本観光振興協会 会長 菰田正信／一般社団法人日本旅行業協会(JATA) 会長 高橋広行／日本政府観光局(JNTO) 理事長 蒲生篤美

基調パネルディスカッション

9月26日(木) 13:15~14:30
東京ビッグサイト 会議棟7F 国際会議場

テーマ 観光交流人口の拡大

サステナブルとパートナーシップを重視し、旅行人口の拡大を

基調パネルディスカッションでは、4名のパネリストがアドベンチャーツーリズムや地域創生支援、欧州の観光団体、送客・受け入れ両方に関わる旅行会社というそれぞれの立場から事例を紹介。国内外の様々な地域・団体がどのようにして観光交流人口を拡大し、地域の発展につなげていくかについて、モデレーターのデュエイ氏を交えて意見を交わした。

北海道でアドベンチャーツーリズム事業を展開する高田氏は「観光交流人口の程よい拡大にはアドベンチャーツーリズムが最適」と強調。サステナブルについて理解があり、地域の人々と交流したい観光客を呼び込むことによって地域が守られ、潤うとした。全国各地で地方創生事業を展開する嶋田氏は、人口約700人の山梨県小菅村の空き家約100軒をリノベーションし、住民も運営に参画するホテルに国内外から多くの観光客が訪れていることなどを紹介。「空き家や無人駅など地域の課題があるほど観光地になり得る」と説明した。

ヨーロッパ観光委員会のサンタンデル氏は過熱し続けるオーバーツーリズムをグローバルな課題として捉え、国際協力を図ることを提言。消費者の行動や環境変化などをモニタリングし、将来を見据えた対策を取っていくことが重要だとした。山北氏は、オーバーツーリズムや人材不足の問題を解決するために、山梨県や高松市で行う観光客

を分散させるための取り組みなどを紹介した。

続いて行われたクロストークでは、どのようにして新しい旅行人口を作っていくかについて話し合った。サンタンデル氏が日本の観光業における官民連携を話題に挙げ、嶋田氏が「人材育成が追い付いていないので、官民で協力していけばいい」と回答。デュエイ氏は「どのようにして若い人たちに観光業で働いてもらうかは非常に深刻な問題だ」と応じた。また、オーバーツーリズム解消のために各地域で観光客受け入れのキャパシティを見極めることが重要などの意見が出た。

モデレーター

マージョリー・デュエイ氏

(株式会社コネクトワールドワイド・ジャパン代表取締役)

パネリスト

高田 茂氏 (鶴雅リゾート株式会社 取締役 アドベンチャー事業部部長)

嶋田 俊平氏 (株式会社さとゆめ 代表取締役CEO)

エドゥアルド・サンタンデル氏

(ヨーロッパ観光委員会(ETC) エグゼクティブディレクター)

山北 栄二郎氏 (株式会社JTB 代表取締役 社長執行役員)



高田 茂氏



嶋田 俊平氏



エドゥアルド・
サンタンデル氏



山北 栄二郎氏



第7回TEJ観光大臣会合

9月26日(木) 14:45~16:45
東京ビッグサイト 会議棟7F 国際会議場

テーマ 新たな旅の創造

未来を見据えて「旅」を再構築しよう

第7回を迎え、TEJのメインイベントとして定着した観光大臣会合は昨年に引き続き、会場でのリアル開催と日英2言語によるオンライン配信によるハイブリッド形式で開催。日本、日米観光交流年2024のアメリカをはじめとする9カ国の観光大臣・観光行政トップの4国際観光組織の代表計13名が一堂に会した。

冒頭で、国際博覧会担当大臣(当時)の自見はなこ氏が2025年大阪・関西万博について説明。「皆様も万博を通じ、日本のファンを数多く作っていただけるとうれしい」と呼びかけるとともに、インバウンドの地方への誘客、各国からのビジネスミッション来日への期待も訴えた。

また、UN Tourismのハリー・ファン・アジア太平洋部部長が「各国のリーダーが手を携えて新しい旅の創造を」とウェルカムメッセージを寄せたのを皮切りに、世界の観光市場が急速に回復する中でさらなる成長を目指すため、どのように新たな旅の創造に取り組むべきか意見交換した。量から質への転換、次世代を担う若者への観光教育、持続可能な地域再生、高付加価値化への転換など、様々な知見を共有。観光大臣会合が課題解決のプラットフォームとして重要な機会になっていることを如実に示した。

主催団体記者会見

日本のツーリズムの復活を広く発信

主催団体記者会見では、高橋広行TEJ実行委員長(JATA会長)が「海外出展者数の多さに表れているように、日本のツーリズムの復活を世界に向けて発信する」と意気込むとともに、自然災害が相次いだ北陸地方の状況にも言及。物産展や募金など、旅のチカラによる復興の必要性を訴えた。日本観光振興協会の最明仁理事長は「展示会場は、双方向で旅の新たな価値とともに、普遍的な素晴らしさを表現するブースが揃った」と強調。



日本政府観光局(JNTO)の蒲生篤美理事長は合同開催の「VISIT JAPAN トラベル & MICE マート」について触れ、「インバウンドの勢いがつく中、2年ぶりの東京開催でこの機会をさらに足がかりにしたいと考えるセラー・バイヤーが多い」と期待感を示した。

2025年大阪・関西万博記者会見

相互理解促進、地方誘客には連携が不可欠

今回のTEJは、観光産業の再生につながる2025年大阪・関西万博の機運醸成も担った。特設ブースでは、最新のパビリオンや未来ショーケース事業、各種イベントなどの情報を展示。記者会見では、2025年日本国際博覧会協会の高科淳副事務総長が「公式参加表明が161カ国・地域に上った。様々な文化、価値観、言葉が一つのリング(大屋根)でつながっているというメッセージを出していきたい」とコメント。大人気公式キャラクターのミャクミャクが登場し、会場を沸かせた。



さらに、国際博覧会担当大臣(当時)の自見はなこ氏も観光大臣会合で挨拶に立ち、「各国との国際交流や文化交流による相互理解促進、万博を契機とした地方誘客、ビジネスの活性化などを図っていきたい」と説明し、旅行業界との連携を訴えた。

共催：



【登壇者】

参加国：ブルネイ・ダルサラーム／ブルガリア／ギリシャ／日本／マレーシア／モンテネグロ／フィリピン／米国／ウズベキスタン

国際団体：国連世界観光機関(UN Tourism)／世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)／ヨーロッパ観光委員会(ETC)／東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)

モデレーター



「新たな旅の創造のための3つの着眼点について」

株式会社コネクトワールドワイド・ジャパン代表取締役
マージョリー・デュエイ氏

各国の様々な挑戦が挙がった中、旅行者としても、旅行・観光産業の担い手としても、旅行産業の未来の糧となる次世代を担う若者に対し、旅の提唱者になってもらうためにはどうすればいいか。また、どのように持続可能な形で観光の質を高めていくのか。文化観光が、旅行者と観光業界にどのような付加価値をつくり出していけるのかなど、3つの観点から有意義な意見交換ができた。

テーマ別シンポジウム

9月27日（金）10:30～17:00 東京ビッグサイト 会議棟6F 会議室605-608

国内旅行シンポジウム

●主催：公益社団法人日本観光振興協会

10:30～12:00

テーマ 地域の観光DX戦略を考える ～観光振興による地域社会の持続・発展に向けて～

基調講演：観光DMPを意味のあるツールにしていくために必要なことは何か？

パネルディスカッション：地域の観光DX戦略と今後の展開にむけて

旅行者、地域、観光産業にDX戦略の重要性を強調

冒頭で挨拶に立った最明理事長は、公益事業として認可を受けた「日本観光振興デジタルプラットフォーム」を紹介。基調講演では清水氏が観光DMPの活用例を示し、さらなる有効活用には使い手側がデータの特徴を理解し、達成するミッションを事前に定義すること、アドバイザリー機能を設けること、観光DMPを使いこなせる人材育成が必要と話した。

パネルディスカッションには4名が登壇。秋本氏が、観光DXの活用により旅行者の消費拡大、周遊の促進、観光産業の収益生産性の向上を図り、地域全体を「稼げる地域」に変革させることが重要と話したのを受け、沼田氏はニセコエリアの取り組みとして、旅行者の訪問状況や宿泊施設の先予約データを地域の事業者と共有することにより、繁忙期、閑散期の従業員のシフト管理や食材の仕入

れの調整、循環バスのダイヤ作成などに役立てている事例を紹介。大須賀部長は北米のDMOに学ぶべき点として、観光客誘致だけではなく、地域の住民や労働力の増加、投資促進など地域社会全体を動かすダイナミズムとしてDXが活用されていることを紹介した。畑中氏は「日本観光振興デジタルプラットフォーム」の機能を解説。人流のデータを活用し、的確なタイミングでの広告を配信することで、地域の滞在時間延長、消費拡大に繋げた実証事業の例などを紹介した。ファシリテーターの鶴本氏は「現代はデータで観光戦略を立てる時代。今後は観光DMPの使い手のスキル向上が必須」とまとめた。



基調講演／清水哲夫氏



パネルディスカッション



最明 仁



鶴本 浩司氏



秋本 純一氏



沼田 尚也氏



畑中 貴之氏



大須賀 信

主催者挨拶 最明 仁（公益社団法人日本観光振興協会 理事長）

基調講演 清水 哲夫氏（東京都立大学都市環境学部観光科学科 教授／金沢大学先端観光科学研究所 特任教授〔クロスアポイントメント〕）

パネルディスカッション

ファシリテーター 鶴本 浩司氏（トラベルボイス株式会社 代表取締役社長 日本観光振興デジタルプラットフォーム推進コンソーシアムメンバー）

パネリスト 秋本 純一氏（観光庁 参事官〔産業競争力強化〕付 専門官）
沼田 尚也氏（ニセコエリアスマートリゾート推進コンソーシアム 倶知安町観光商工課 主幹）
畑中 貴之氏（株式会社オープンートン 取締役 日本観光振興デジタルプラットフォーム推進コンソーシアムメンバー）
大須賀 信（公益社団法人日本観光振興協会 観光地域づくり・人材育成部門 観光地域マネジメント部長）

観光庁シンポジウム

●主催：観光庁／一般社団法人「世界文化遺産」地域連携会議 ●共催：公益社団法人日本観光振興協会

15:30～17:00

テーマ 第11回世界遺産サミット in EXPO

著名観光スポットへの偏重を打破し真の地域の発展へ

全国各地にある世界遺産の保全や活用について報告・意見交換する「世界遺産サミット」を、ツーリズムEXPOジャパンで開催した。

まず各地域の取り組みを紹介。堀内氏は、今夏に始めた山梨県側からの富士山登山口である吉田ルートの通行規制について説明。「5合目にゲートを設けて通行料を徴収し、午後4時から翌日午前3時まで入れなくしたところ、弾丸登山者が96％減った」と成果を強調した。中井氏は「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録20周年を記念し、官民連携で展開する様々な事業を紹介。「単なるイベントで終わらせず、関係人口を増やし、風景を残していきたい」と述べた。小林氏は、2024年7月に「佐渡島の金山」

が世界遺産に登録されるまでの道のりや構成資産を説明。「持続的な観光地域づくりを進めていきたい」と意気込んだ。

続いて首長会議を開催。山梨県富士吉田市、奈良県吉野町、栃木県日光市、岩手県平泉町の4市町の首長が世界遺産の保全やオーバーツーリズムへの対策などについて話し合った。粉川氏はインバウンド受け入れのための環境整備や、街なかに駐車場を整備して交通渋滞解消を進めていることなどを説明。青木氏は「自分たちが地域の文



化財、文化をしっかりと知ることが、文化財を今後に伝える、つなげていくためには大事だ」と話した。

モデレーターを務めた島川氏は「オーバーツーリズムは避けて通れない状況になってきた。いったん世界遺産を静かに見つめ直す、もっと精神性の高い観光を推進していく時期に差しかかっているのではないか」と締めくくった。

第1部：各地域の取組紹介

主催者挨拶 長崎 敏志（観光庁 観光地域振興部長）

登壇者 堀内 茂氏（富士吉田市市長）
中井 章太氏（吉野町長）
小林 大吾氏（佐渡市観光振興部 部長）

長崎 敏志



堀内 茂氏



中井 章太氏



小林 大吾氏

第2部：パネルディスカッション（首長会議）

モデレーター 島川 崇氏（神奈川大学 国際日本学部 教授）

パネリスト 青木 幸保氏（平泉町長）
粉川 昭一氏（日光市長）
堀内 茂氏（富士吉田市市長）
中井 章太氏（吉野町長）

島川 崇氏



青木 幸保氏



粉川 昭一氏

海外旅行シンポジウム

●主催：一般社団法人日本旅行業協会（JATA）

テーマ 日米観光交流年2024「アメリカ旅行企画コンテスト」

応募は全国の学生から計73作品、グランプリは父と息子の宇宙ツアー

日本旅行業協会（JATA）は9月27日、若者の海外旅行需要喚起を目的とした「アメリカ旅行企画コンテスト」の最終審査会と表彰式を行った。

グランプリは、阪南大学の村田歩夢さんによる「父と息子の宇宙旅行計画 ～お父さん派男子になるための7つのMission～」。テキサス州とフロリダ州の宇宙飛行士訓練施設やNASA（アメリカ航空宇宙局）を訪れた後、ロケット打ち上げを観覧する旅程で、ターゲット層にはZ世代の息子と父の親子旅行を想定した。

準グランプリには、跡見学園女子大学の篠原ゼミ生による企画で、ロサンゼルス周辺をめぐる「60年前のアメリカンドリーム！今蘇る！令和の女子大生の“夢満載”のア

メリカ旅」。審査員特別賞には、流通科学大学の野球を愛する学生らが考えた「ベースボールを体感セヨ。観て交わって。シカゴをまるっと好きになるタビ」が選ばれた。

このコンテストは、コロナ禍で落ち込んだ日米間の相互観光往来を回復するため、日米政府が締結した「日米観光交流年2024」を機にJATAが主催。全日本空輸（ANA）が協賛、ブランドUSAとビジットUSAコミティジャパンが協力した。日本全国の大学、短期大学、専門学校から計73作品の応募があった。

審査員長を務めた高久氏は、「全国の学生の皆様から面白いアイデアをたくさんいただき、我々にとっても学びが多かった」と総評した。



学生によるプレゼンテーションの様子



受賞者のみなさん



受賞者と審査員

審査員

写真左から

高久 渉氏 審査員長（ブランドUSA日本事務所 旅行業界担当ディレクター）

田中 映子氏（ビジットUSA コミティジャパン 会長）

柏木 寿州氏（ANA営業センター センター長代理 兼 ANAあきんど株式会社 常務取締役）

越智 良典氏（東洋大学 国際観光学部 客員教授）

稲田 正彦（一般社団法人 日本旅行業協会 海外旅行推進部 部長）

石原 義郎氏（株式会社航空新聞社 ウイングトラベル編集部 編集統括）

13:00～14:30

日米観光交流年シンポジウム

（ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー）

日本からの渡航需要の回復を早期に達成すべく実施している施策および今後のプランについて

日米観光交流年 2024 で官民参加のシンポジウムも開催

ブランドUSA では同日、来日した米国の官民旅行関係者を迎えて日米観光交流年シンポジウムを開催し、訪米渡航需要の早期回復策について話し合った。

米国商務省全米旅行観光局上級政策アドバイザー・アウトリーチアンドエンゲージメントチームリーダーのカート・コトル氏は「革新的な米国での旅行体験につながる斬新なアイデアを」と呼びかけ、観光庁国際観光部観光課欧米豪市場推進室長の古井拓郎氏は、両国の観光交流拡大に、引き続き力を入れていく意欲を示した。

シンポジウムでは、ブランドUSA をはじめ、ディズニー、ハワイ、ボートランド、マイアミの代表者5名が登壇し、コロナ禍後も米国への日本人旅行者数が伸び悩んでいる現状を訴えるとともに、現在の施策や今後の日本人誘客のためのプランなどを発表。業界関係者に向けて米国旅行の魅力をあらためて訴求した。



[挨拶]

カート・コトル氏（米国商務省 全米旅行観光局 上級政策アドバイザー・アウトリーチ アンド エンゲージメント チームリーダー）

古井 拓郎氏（観光庁 国際観光部観光課 欧米豪市場推進室長）

[パネルディスカッション]

早瀬 陽一氏（ブランドUSA 日本地区ディレクター）／ジェフ・ヴァン・ランゲヴェルド氏（ディズニー・ディステーションインタナショナル・マーケティング&セールス バイスプレジデント）／ダニエル・ナーホオビ氏（ハワイ・ツーリズム・オーソリティ 最高管理責任者）／ヘザー・アンダーソン氏（ボートランド観光協会 インターナショナル・ツーリズム・アドミニストレーション・ディレクター）／ジョー・ドカル氏（グレーター・マイアミ観光局 トラベルインダストリー・セールス・ディレクター）

●主催：日米観光交流年ワーキンググループ

ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー

9月26日（木）・27日（金） セミナールーム 1F東5/1F東6/2F東1(2)/2F東1(3)/Aステージ/特別コーナーステージ

観光産業の未来を見据えたDXや宇宙旅行、サステナブルな旅情報等を発信！

観光業界関係者向けプログラム「ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー」は、空飛ぶクルマや宇宙旅行、DX活用をはじめとする最先端情報のほか、サステナブルな旅、地域再生のヒント、注目のデスティネーション情報など多彩なコンテンツを集めて展開された。

日本遺産オフィシャルパートナーシッププログラム 締結式

●主催：文部科学省 文化庁

9月27日（金）
10:30～12:00
Aステージ

文化庁長官が32企業・団体に認定証を交付

文化庁は「日本遺産オフィシャルパートナーシッププログラム」に認定された32の企業・団体と第1回締結式を開催した。日本遺産は日本各地の歴史的魅力や特色などを通して構築された文化・伝統を語るストーリーを認定するもので、2015年度の創設以来の設定は104件。オフィシャルパートナーシップは、文化庁と企業・団体が協力して日本遺産の認知度向上と活用による国内外への魅力発信、地域活性化を目的としており、締結式には旅行会社や航空会社、鉄道、高速道路、歴史街道や城郭といった文化団体などの代表者が列席した。

式典冒頭では文化庁の都倉長官が登壇し、「日本遺産は1000年以上の昔のものから明治時代、戦後など多岐にわたり、地域の魅力発見につながっている。今回32の企業・団体が協賛してくださったことは非常に心強い」と語った。日本遺産創設に携わった衆議院議員の浮島氏は「日本遺産は認定されてからがスタート。地域への周知も含め、一層盛り上げてほしい」と挨拶。同じく参議院議員の赤池氏は「今後も日本遺産が知名度の向上、国内外への発信、地方創生に尽力していく」とメッセージを送った。

締結式冒頭では日本遺産「海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国若狭と鯖街道～」について福井県小浜市の杉本市長が動画でプレゼンテーションを行い、「鯖街道をブックとしたPRや道の駅とのタイアップが集客増・売上増につながっている」と成果を発表した。



【登壇者】

主催者挨拶：都倉 俊一（文部科学省 文化庁 長官）

ご来賓：浮島 智子氏（公明党 文部科学部会長・衆議院議員）／赤池 誠章氏（自由民主党 日本遺産推進議員連盟事務局長・参議院議員）

動画プレゼンテーション：杉本 和範氏（福井県小浜市長）

登壇企業：イオンリテール株式会社／株式会社エイチ・アイ・エス／小田急電鉄株式会社／キャノンマーケティングジャパン株式会社／九州旅客鉄道株式会社／株式会社クニエ／KNT-CT ホールディングス株式会社／株式会社JTB／四国旅客鉄道株式会社／首都高速道路株式会社／全日本空輸株式会社／株式会社TBSスパークル／東急ホテルズ & リゾーツ株式会社／東武トップツアーズ株式会社／西日本高速道路株式会社／西日本旅客鉄道株式会社／一般社団法人日本遺産普及協会／公益社団法人日本城郭協会／公益財団法人日本博物館協会／株式会社日本旅行／一般社団法人日本旅行業協会／野村證券株式会社／株式会社浜倉の商店製作所／株式会社阪急交通社／阪神高速道路株式会社／東日本旅客鉄道株式会社／本州四国連絡高速道路株式会社／楽天グループ株式会社／歴史街道推進協議会

TOUCH! the future ステージ

●主催：東京都・公益財団法人東京観光財団／観光産業の未来TOUCH! the future

9月27日（金）
13:20～15:30
Aステージ

3部にわたり、観光産業の現状と未来への提言を展開

第1部で講演したJR東日本びゅうツーリズム&セールスの高橋氏は、「日本の人口減少が深刻化し地方の衰退が加速している今、観光産業は課題を解決する鍵になる」と強調。インバウンド需要の高まりとともに、地域の魅力を発掘し、地域住民と観光客をつなぐことで地域経済の活性化と雇用創出が期待されている。さらに高付加価値な観光サービスを提供し、地域社会との共生を目指すことで、「観光は単なる消費活動を超え、持続可能な地域づくりに貢献できる」と力説した。

第2部では、MATCHAの青木氏と、モデルの貴島氏がトークショーを行った。「旅行会社や航空会社だけでなく、宿泊、飲食、交通、そして地域の魅力を発信するあらゆる活動を含む裾野の広い産業である」と青木氏。多言語対応の強化、価格設定の透明化、

デジタルツールの導入など、今後の展望について具体的な話が展開された。

続くパネルディスカッションでは、観光産業の現状と未来について多角的な視点から議論が交わされた。デジタル化の波に乗り、AIやIoTを活用した新たなサービスが続々と登場する中、いかに人の温かさを保ちながら、観光客に魅力的な体験を提供していくかが重要なテーマとして取り上げられた。モデレーターの大木氏は「変化が激しい業界だが、同時に大きな可能性を秘めている。人材育成や地域活性化など、様々な分野で貢献できる魅力的な業界と言える」と締めくくった。

【第1部～第3部モデレーター】

大木 優紀氏（株式会社社令和トラベル 執行役員）

第1部

「日本の未来を担うツーリズムのチカラ」



【登壇者】

基調講演：高橋 敦司氏（株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールス 代表取締役社長）

第2部

観光産業の魅力
-ふたつの視点から見るツーリズムの姿-
トークショー「観光産業の“魅力”」



【登壇者】

青木 優氏（株式会社MATCHA 代表取締役社長）
貴島 明日香氏（モデル）

第3部

観光産業の未来
-これからの観光産業の可能性を探る-
パネルディスカッション「観光産業の“未来”」



【登壇者】

金山 淳吾氏（一般財団法人渋谷区観光協会 代表理事）
島田 晴香氏（株式会社Dct 代表取締役）
村山 亜由氏（株式会社やまごころキャリア マーケティング部 キャリアアドバイザー）

国際クルーズの市場拡大に向けて ～日本発着からフライ&クルーズまで～

●主催：ツーリズムEXPOジャパン

9月27日（金）
16:30～18:00
Aステージ

市場開拓は可能、販売会社・クルーズ人口拡大に商機あり

コロナ禍後の世界のクルーズ市場は堅調に回復し、2023年は2019年比107%と「最も好調」（堀川氏）。しかし日本市場は2019年の約35万人に対して2023年は約19万人にとどまり、特にフライ&クルーズは円安やインバウンド需要による航空座席不足なども含め「クルーズ元年といわれた1989年から30年間、ほぼ横ばい」（松浦氏）で、かつて主要層であったシニアもコロナ禍を境に減少傾向にあるという。

しかし登壇者らは「クルーズこそが伸びしろと可能性がある市場」とし、特にインバウンド需要による海外船社の日本配船増、日本籍船は、現状の2隻から数年後には8隻に拡充が見込まれ、「大チャンス」の到来。クルーズ人口拡大に向け業界を挙げて対策を講じるべきだ」と口を揃える。

そのための重要な対策は販売会社増とクルーズ人口増。クルーズ販売シェアは日本全国の旅行会社約1万2000社のうち、上位10社が90%を占める状態で、小林氏は「地方電鉄や新聞社系などが販売に乗り出せば、クルーズ人口の増加につながる」とし、クルーズ販売支援システム「NAVIS」を立ち上げるという。松浦氏は「旅行機会の



損失は業界にとってもマイナス」とし、催行人数に達しない場合は他社を紹介するなど旅行会社同士の連携も提案。さらに、ハネムナーや家族層は有望な販売層になり得るとも語った。

そのうえで、フライ&クルーズは航空座席の取りやすいオセアニアや、ディズニークルーズが就航する東南アジアにチャンスがあるという見解が示された。

【登壇者】

コーディネーター：沖田 一弘氏（一般財団法人みなと総合研究財団 首席研究員）

パネリスト：堀川悟氏（日本国際クルーズ協議会（JICC）株式会社カーニバル・ジャパン 代表取締役社長）／小林敦氏（株式会社クルーズプラネット 代表取締役社長）／松浦賢太郎氏（クルーズのゆたか倶楽部株式会社 代表取締役、アウトバウンド促進協議会（JOTC）クルーズ旅行推進部会 部会長）

■ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー タイムテーブル

	日 時	講演タイトル	主 催	場 所
9/26 （木）	10:30-12:00	【日本航空様登壇】企業における業務効率化/BPRの新しい姿とは？	日鉄ソリューションズ株式会社	1F東5
	12:30-14:00	観光事業者の顧客送迎は白ナンバーで可能か？「自家用有償旅客運送」の最新制度や、同制度下におけるビジネス上のポイントについて弁護士が解説	西村あさひ法律事務所・外国法共同事業	
	14:30-16:00	るぶが皆様の広報を変える！そして、お客様を誘致する！～新生ソリューション「るぶ+（プラス）カード」&「食マーケティング」～	株式会社JTB パブリッシング	
	16:30-18:00	地域と旅の新たな関係、地域への愛着と強いブランドを生み出す「第2のふるさと」とは？	観光庁	
	10:30-12:00	標準旅行業約款における取消料規定及び個別認可約款の活用について	一般社団法人 日本旅行業協会	1F東6
	12:30-14:00	観光予約プラットフォーム構想から10年～データ活用者たちのプラットフォームへの要望と期待～	観光予約プラットフォーム推進協議会	
	14:30-16:00	地質学の視点からみた酒蔵ツーリズムについて	日本酒蔵ツーリズム推進協議会	
	16:30-18:00	セミナー：今後の旅行会社の人材育成	日本国際観光学会	
	12:30-14:00	【学生向けセミナー】人財を惹きつける魅力ある旅行業にむけて	サービス・ツーリズム産業労働組合連合会 一般社団法人 日本旅行業協会	2F東1（2）
	14:30-16:00	ツアーグランプリ受賞者から学ぶ、新しい旅行商品のカタチとは？	一般社団法人 日本旅行業協会	
	16:30-18:00	日本におけるサステナブルツーリズムの推進	グローバル・サスティナブル・ツーリズム協議会 一般社団法人 日本旅行業協会	
	13:30-13:50	研究発表「私たちが考える成田空港の未来」	東洋大学国際観光学部 野村・森下・安宅ゼミ	
	14:10-14:30	地域のストーリーを巡るサイクリングガイドツアー sokoiko!のご紹介	sokoiko! Cycling tours	特別コーナー ステージ（抜粋）
	10:30-12:00	インバウンド最前線！インバウンド高付加価値への挑戦！！～地方誘客と高付加価値化の促進に向けて～	一般社団法人 日本旅行業協会	
	12:30-14:00	観光事業者の顧客送迎は白ナンバーで可能か？「自家用有償旅客運送」の最新制度や、同制度下におけるビジネス上のポイントについて弁護士が解説	西村あさひ法律事務所・外国法共同事業	
	14:30-16:00	日本遺産ツーリズムセミナー ～「日本遺産 御周町」と各地の取組事例～	公益社団法人 日本観光振興協会	
9/27 （金）	16:45-18:00	日米観光交流年シンポジウム：日本からの渡航需要の回復を早期に達成すべく実施している施策および今後のプランについて	日米観光交流年ワーキンググループ	1F東5
	10:30-12:00	歴史写真家バシャール・タッパとヨルダンの遺産を写真で探る	ヨルダン政府観光局	
	12:30-14:00	観光の未来を読み解く、Z世代の旅行スタイルとデジタルマーケティング	株式会社JTB コミュニケーションデザイン	
	14:30-16:00	各地域の酒蔵ツーリズムの取り組み	日本酒蔵ツーリズム推進協議会	
	10:30-12:00	ブルネイ代理店と日本代理店の交流会	ブルネイ ツーリズム	1F東6
	12:30-14:00	世界のAT先進地域と日本のAT地域としての可能性	日本アドベンチャーツーリズム協議会 アドベンチャーツーリズムアカデミー	
	14:30-16:00	「脱FAX！日本旅行業界のガラパゴス化を徹底討論-DXへの道は険しいのか！？」	一般社団法人 旅行産業経営塾 OＢ会（セミナー主催者招待制）	
	16:30-18:00	「脱FAX！日本旅行業界のガラパゴス化を徹底討論-DXへの道は険しいのか！？」	一般社団法人 旅行産業経営塾 OＢ会（セミナー主催者招待制）	
	10:30-12:00	空飛ぶクルマの実装化に向けて～みんなでつくりよう！新しい空の世界～	東京海上日動火災保険株式会社／株式会社エイチ・アイ・エス 丸紅株式会社	2F東1（3）
	12:30-14:00	エリア間を繋ぐ観光型MaaSサービスの現状と未来	フォルシア株式会社	
	14:30-16:00	■■パネルディスカッション■ ネイチャーポジティブ実現に向けた 新たな保全区域、環境省認定「自然共生サイト」の観光活用について考える “あなたも行ける！”宇宙旅行最前線	環境省／一般社団法人 日本旅行業協会	
	16:30-18:00	日本遺産オフィシャルパートナーシッププログラム 締結式	宙ツーリズム推進協議会	
	10:30-12:00	TOUCH！ the future ステージ「日本の未来を担うツーリズムのチカラ」	文化庁	A ステージ
	13:20～	TOUCH！ the future ステージ 観光産業の魅力-ふたつの視点から見るツーリズムの姿-	東京都・公益財団法人 東京観光財団 観光産業の未来TOUCH！ the future	
	13:55頃～	TOUCH！ the future ステージ 観光産業の未来-これからの観光産業の可能性を探る-	東京都・公益財団法人 東京観光財団 観光産業の未来TOUCH！ the future	
	14:30頃～	TOUCH！ the future ステージ 観光産業の未来-これからの観光産業の可能性を探る-	東京都・公益財団法人 東京観光財団 観光産業の未来TOUCH！ the future	
	16:30-18:00	国際クルーズの市場拡大に向けて ～日本発着からフライ&クルーズまで～	ツーリズムEXPO ジャパン	特別コーナーステージ （抜粋）
	11:10-11:30	埼玉女子短期大学三ツ木専門セミナー「2024年度産学官連携プロジェクトについて～埼玉ゴールデンルートのPRイベントと秩父地域アンバサダーとしての新みそポテト開発～」	埼玉女子短期大学三ツ木専門セミナー	
	11:50-12:10	淑徳大学 経営学部 観光経営学科の実践型教育、インターンシップの取り組み	淑徳大学 経営学部 観光経営学科	
	13:30-13:50	サステナブルな観光地域マネジメントとは	和歌山大学観光学部 サステナビリティ研究室	
	14:10-14:30	MSCグループの新ラグジュアリー客船、エクスプローラ ジャーニーの全て	エクスプローラ ジャーニー	
	14:50-15:10	長崎検番～江戸時代中期から続く長崎花柳屋の伝統～	長崎自動車株式会社／株式会社長崎検番	
	15:30-15:50	サステナブルな旅行の行動ヒントについて	株式会社JTB ×楽天グループ株式会社× Booking.com Japan	



第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」

共催:



9月26日(木) 10:10~11:00 東京ビッグサイト会議棟7F 国際会議場
主催:公益社団法人日本観光振興協会／一般社団法人日本旅行業協会(JATA)／日本政府観光局(JNTO)
協賛:株式会社ジェシービー、インド政府観光省

国土交通大臣賞は愛知県の「愛知県『休み方改革』プロジェクト」 今年から経済産業大臣賞新設でナビタイムジャパンが受賞

第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」は、国内外から119件(国内・訪日領域105件、海外旅行14件)の応募があった。国土交通大臣賞は愛知県の「愛知県『休み方改革』プロジェクト」、今年から新設された経済産業大臣賞はナビタイムジャパンの「訪日外国人向け観光ナビゲーションサービス『Japan Travel by NAVITIME』(インバウンド)」が受賞した。

「愛知県『休み方改革』プロジェクト」は、観光需要の平準化を進めるうえで、県が主導して休暇改革を打ち出した点を評価。学ぶ+休暇＝「ラーケーション」という概念をつくり出し、他の都道府県でも同様の施策が広がりとつある。ナビタイムジャパンの「訪日外国人向け観光ナ

ビゲーションサービス『Japan Travel by NAVITIME』(インバウンド)」は、日本特有の交通事情を考慮した情報、旅のすべての要素をシームレスにつなぐサービスはデータも取得でき、広域観光にも大きく寄与している点が素晴らしいとされた。

そのほか、観光庁長官賞は3団体、実行委員長賞は1団体、UN Tourism特別賞は2団体、審査員特別賞は16団体、学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワードは1団体を受賞し、入賞取り組みとして13団体が選ばれた。受賞した取り組みは、持続可能な観光産業の目線に加え、観光の力により、地域産業の維持・発展に貢献している取り組みが多く見られた。



国土交通大臣賞

●愛知県
(国内・訪日領域)
愛知県「休み方改革」プロジェクト
＜選考ポイント＞

観光需要の平準化を進める上で、県が主導して休暇改革を打ち出した点を高く評価した。まさに観光界が期待する取り組みであり、他の都道府県でも同様の施策を始めているがその先駆者となっている。学ぶ+休暇＝「ラーケーション」という概念を作り出し、経済界・労働界・教育界が一体となって改革に取り組んでいる点が素晴らしい。



愛知県知事の大村秀章氏のメッセージを代読
「日本の休暇取得のあり方を見直しを通じ、ワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による日本経済の活性化を目指すプロジェクト。全国の観光業界の力添えが重要になる」



経済産業大臣賞

●株式会社ナビタイムジャパン
(国内・訪日領域)
訪日外国人向け観光ナビゲーションサービス『Japan Travel by NAVITIME』(インバウンド)
＜選考ポイント＞

日本特有の交通事情を考慮した情報や、旅のすべての要素をシームレスにつなぐサービスは、旅行プランのみならず、データも取得でき、広域観光にも大きく寄与している点が素晴らしい。2013年よりサービスを提供し、チケット予約など13言語に対応するなどアップデートを重ね、一つのアプリで完結する事からデータ活用による更なる展開可能性が期待できる点も高く評価した。



代表取締役社長の大西啓氏がコメント
「今後も訪日外国人の移動課題を解決し、日本の魅力を知っていただく観光情報とルートを提供し、地域が活用できるサービスを提供していく。今回の受賞を励みにしたい」



観光庁長官賞 (国内・訪日領域2団体 海外領域1団体)

●一般社団法人 越前市観光協会
(国内・訪日領域)

伝統産業の未来を切り拓く産地事業者と協働した『トップ層』誘客への挑戦

＜選考ポイント＞

出荷額の減少や職人の高齢化及び後継者問題等を抱える中、地方自治体が認知度と経済効果向上を目的として入込数・観光客・観光消費額のみならず、価値への共感・トップ層・産業消費額を重視する戦略を産業政策ではなく観光政策において公に掲げている独自性が強い点を評価した。地域の課題を的確に捉え、地域側に無理がない形で受け入れ体制を取っている点も素晴らしい。



●扉ホールディングス株式会社
(国内・訪日領域)

古民家再生で持続可能な観光地域づくりへ！地域共創ウェルネスツーリズム

＜選考ポイント＞

地域経済、自然環境、歴史文化の調和を図りながら、持続可能な観光地モデルの確立を目指している好事例である。観光資源の多様化と地域活性化を図るとともに福祉の推進も目的とし、実績が着実に伸びている点を評価した。



●カタルーニャ観光局
(海外領域)

National Commitment to Responsible Tourism/責任ある観光へのカタルーニャ州の取り組み

＜選考ポイント＞

オーバーツーリズム先進地域として「Climate Action Plan」を策定し、様々な認証制度も導入する事で、地域で大規模に連携している。世界に先駆けて脱炭素やごみの削減、生物多様性への取り組みを付加価値につなげ、一つのモデルとしていることを評価した。



実行委員長賞

●Saudi Red Sea Authority (海外領域)
Environmental Protection of Coastal Tourism

＜選考ポイント＞

国としてオイルから観光へ大胆なシフトを行う中にもあってもSDGsをしっかり意識した素晴らしい取り組みである。地域自然の生態系を保護しながら観光振興と誘客を行い、観光の新たな世界基準を目指す点も良い。紅海における沿岸観光環境保護メカニズムの立ち上げと実施に向けたロードマップを提示し具体的に事業を進めている点も高く評価した。



UN Tourism 特別賞(2団体)

●一般社団法人南三陸町観光協会
(国内・訪日領域)

未来を育む学びのツーリズム事業

＜選考ポイント＞

震災直後から長期間にわたり、被災地域が主体となり公益事業と収益事業の両輪で、持続できる方法で取り組みを続けている所を評価した。実際に被災地に訪れて体感することでより深く



学ぶことができ、旅行者と共に持続的な観光地域づくりを行い、震災を風化させず、防災・減災について考える機会を提供している点も素晴らしい。

●一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー (国内・訪日領域)

エシカルトラベルオキナワ

＜選考ポイント＞

旅行者数などに重きを置いた誘客施策ではなく「世界から選ばれる持続可能な観光地」を将来像として質の高い観光を求めた施策を展開している点を評価した。沖縄の自然環境・伝統・産業を尊重し、旅行者と県民の相互満足度向上を目指していることや参加事業者が着実に増えていることから今後の発展も期待できる。



学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード

●九電産業株式会社旅行部(国内・訪日領域)
エネIKU (in 九重/玄海/唐津)

～まちまるごとエネルギーパーク～

＜選考ポイント＞

観光×産業×教育×環境を組み合わせたプログラムは、特定の地域だけでなく、同じような資源を持っていないながらも活用方法を見つけていない地域にとって汎用性が高いと考えられる。町全体をテーマパークに見立てている部分が、地域の活性化に非常に貢献できている。持続可能な社会を実現させるための方法を考えるだけでなく、子どもたちにも自ら考えてもらうことで、次世代を担う子どもたちの世界観が広がる点も素晴らしい。



審査委員特別賞

国内・訪日領域13団体

九電産業株式会社旅行部 エネIKU (in 九重/玄海/唐津) ～まちまるごとエネルギーパーク～／一般社団法人そらの郷 世界農業遺産をはじめとする農山村資源を活用した

「住んでよし訪れてよしの観光地域づくり」／SHINRA/知床自然ガイドツアー株式会社 流水ウォーク⑧×地球の神秘を体感できるサステナブルツーリズム／和歌山県北山村 筏流し文化の継承と観光産業への転換～小さな村の観光筏下り事業～／有限会社丸徳水産 海を遊びながら、学んで、記憶するツアー「海遊記」／株式会社JTB 霞が関事業部 地域向け生産性向上ソリューション「宿泊データ分析システム」の全国提供 ～地域と規模を問わない宿泊・人流・消費データの活用環境の提供による、EBPMと観光DXの推進～／一般社団法人SOE 福井「越前鯖江」における、産業観光イベントRENEWを通じたものづくり・まちづくり・ひとづくりの取り組み／ホンダモビリティランド株式会社 魅力的な地方観光資源を掘り起こしスポーツツーリズムを世界に「F1日本グランプリ地域観光パッケージ」／株式会社D2C X 伝統工芸品の海外向けクラウドファンディングを起点とした持続可能な産業観光プロジェクト／帰る旅研究会 ただいま・おかえりで始まる何度も、ある地域へ、ある場所へ通う旅「帰る旅」プロジェクト／神戸フィルムオフィス 産業遺産群を利活用した撮影誘致と、ヘリテージツーリズム/ロケ地ツアーの実施について／仙北市役所 ～農山村地域に外国人がおしよせる～ 市内に旅行会社を設立 農家の母さんが旅行業務取扱主任者に／昭和女子大学 どさいぐ?鶴岡プロジェクト どさいぐ? 鶴岡ツアー～留学生と鶴岡市の高校生が生み出す魅力再発見の旅～

海外領域3団体

Philippine Department of Tourism Love The Philippines Brand Campaign／株式会社エイチ・アイ・エス スタディツアー デスク HIS×unisteps わたしたちと服の関係性を見つめ直すスタディツアー／NPO法人カラフルチェンジラボ ダイバーシティ先進都市視察・体感ツアー in シドニー



入賞

国内・訪日領域12団体／海外領域1団体

【ジャパン・ツーリズム・アワード 審査委員】
(50音順・敬称略)

審査委員長
本保 芳明 国連世界観光機関
(UN Tourism) 駐日事務所 代表



審査委員
David Atkinson 株式会社小西美術工芸社 社長
石原 義郎 株式会社航空新聞社 編集統括
太下 義之 同志社大学 教授
最明 仁 公益社団法人日本観光振興協会 理事長
鈴木 貴典 国土交通省 観光庁 審議官
関口 和一 株式会社MM 総研 代表取締役所長
高橋 広治 日本政府観光局(JNTO) 理事長代理
高橋 広行 一般社団法人日本旅行業協会 会長
南 亮 経済産業省 商務・サービス審議官
宮川 暁世 株式会社日本政策投資銀行 産業調査部長兼地域調査担当部長
森下 晶美 東洋大学 国際観光学部国際観光学科 教授
浦井 雅之 東京都市大学 特別教授

【学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード 学生審査員】
(大学名50音順・敬称略)

杉山 亜未 追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科
細金 はるか 神奈川大学 国際日本学部 国際文化交流学科
井手 陽香 國學院大学 観光まちづくり学部 観光まちづくり学科
小島 ののは 埼玉女子短期大学 国際コミュニケーション学科
松原 梨紗 淑徳大学 経営学部 観光経営学科
吉田 煌輝 松蔭大学 観光メディア文化学部
栗山 啓汰 帝京大学 経済学部
小嶋 海輝 東京都立大学 都市環境学部 観光科学科
江崎 颯汰 東洋大学 国際観光学部 国際観光学科
朝倉 万結 日本大学 国際関係学部 国際教養学科
奥隅 佳 日本大学 国際関係学部 国際総合政策学科
向井 美蘭 一橋大学 商学部 商学科
茂木 桜子 文教大学 国際学部 国際観光学科
松野 莉子 立教大学 観光学部 交流文化学科
兼松 陽花里 流通経済大学 共創社会学部 国際文化ツーリズム学科
出口 莉子 和歌山大学 観光学部 観光学科

WELCOME RECEPTION

9月26日(木) 18:00～19:30
東京ビッグサイト 会議棟1F レセプションホール

【登壇者】

ご来賓：国土交通省 国土交通大臣政務官 尾崎正直氏／自由民主党 観光立国調査会 会長・参議院議員 鶴保庸介氏／国土交通省 観光庁 次長 平嶋隆司氏／国連世界観光機関 (UN Tourism) アジア太平洋部 部長 ハリー・ファン氏／世界旅行ツーリズム協議会 (WTTC) アジア・太平洋地域マネージング・ディレクター リズ・オルティゲラ氏／ヨーロッパ観光委員会 (ETC) エグゼクティブディレクター エドゥアルド・サンタンデル氏／東アジア・アセアン経済研究センター (ERIA) マネージングディレクター アラジン・リロ氏／駐日フィリピン共和国 特命全権大使 ミレーン・デ・ホヤ・ガルシア・アルバノ氏／株式会社ジェーシービー 代表取締役 兼 執行役員社長 二重孝好氏／ANAホールディングス株式会社取締役会長 片野坂真哉氏／日本航空株式会社 代表取締役会長 赤坂祐二氏／サウジアラビア政府観光局 北東アジア担当ディレクター アデル・アルファワン氏／ハワイ・ツーリズム・オーソリティ 最高管理責任者 ダニエル・ナーホオビイ氏／スターラックス航空 日本支社 支社長 王雲翔氏／日本空港ビルディング株式会社 代表取締役副社長 鈴木久泰氏／東京国際空港ターミナル株式会社 代表取締役社長 赤堀正俊氏／成田国際空港株式会社 代表取締役社長 田村明比古氏／東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役 マーケティング本部長 中川晴美氏／米国商務省 全米旅行観光局 上級政策アドバイザー・アウトリーチ アンド エンゲージメント チームリーダー カート・コトル氏

主催者：日本政府観光局 (JNTO) 理事長 蒲生篤実／一般社団法人日本旅行業協会 会長 高橋広行／公益社団法人日本観光振興協会 理事長 最明仁



日本政府観光局 (JNTO)
理事長 蒲生 篤実

TEJの東京開催は2022年以来2年ぶり。今年の開催テーマが「旅、それは新たな価値との遭遇」であるように、2025年の大阪・関西万博の成功と、観光が地域経済持続の発展と新たな価値を生み出すことを願う。

旅行のさらなる発展とともに、アウトバウンドを含めた双方向交流活性化に取り組みたい」と話した。今回欠席となった衆議院議員の二階氏 (当時) は「(海外と日本の) 交流が深まるようさらなる努力を」とメッセージを送った。参議院議員の鶴保氏は「さらなる観光産業発展のため、より風通しのいい交流の場を創出していきたい」とし、前内閣総理大臣の菅氏 (当時) はビデオメッセージで、訪日外国人客数の記録更新について述べ、「観光は今や世界の基幹産業。2030年は訪

訪日外国人客のさらなる増加と双方向交流の発展を

初日には、会議棟1FのレセプションホールでWELCOME RECEPTIONが開催された。

冒頭で主催者を代表し、蒲生JNTO理事長が「観光がさらなる経済発展と新たな価値を生み出すことを願う」と挨拶。続いて来賓が登壇。まずは国土交通大臣政務官 (当時) の尾崎氏が「訪日外国人客数は2024年1～8月で2400万7900人を記録し、11カ月連続でコロナ禍前の記録を上回っている」とインバウンドの好調に触れたうえで、「訪日

日観光客数6000万人、消費額15兆円達成を目指したい。そのためには先例にとらわれず、大胆な取り組みも必要だ」と語った。

続いて主催者や来賓、スポンサー、観光大臣会合に参加した各国の観光トップらが登壇。駐日フィリピン共和国特命全権大使のガルシア・アルバノ氏が「TEJ2024がこのように盛大に開催できたことにお喜び申し上げる」と、乾杯の音頭を取った。

歓談を挟み、TEJ初のスペシャル・サポーターに任命された俳優の山口智子さんが登壇。ショートスピーチの中で「旅の魅力を、声を大にして発信していきたい」と力強く語った。引き続き、残念ながら来場が叶わなかった石川県輪島市の無形文化財であり伝統芸能「御陣乗太鼓」のビデオ上映紹介がされたのち、インドの伝統舞踊「カタカリ・ダンス」舞踊団がステージ上でエキゾチックな踊りを披露した。

次回「ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸」の開催地である愛知県へのフラッグ・ハンド・オーバーセレモニーも行われ、東京観光財団の鈴木専務理事からJATA高橋会長を経て中部経済連合会水野会長にTEJ旗が手渡された。水野会長は「地域の魅力を発信しながら、日本の観光産業発展に寄与していきたい」と抱負を述べた。



国土交通省 国土交通大臣政務官
尾崎 正直氏

コロナ禍後、日本の観光需要は着実に回復しており、各地で活気が戻っている。TEJをきっかけに旅の魅力発信がさらに高まるとともに、観光を通じた観光相互交流の促進や国際交流が深まり、日本の目指す観光立国の実現へつなげたい。インのみならず、アウトも含めた双方向の取り組みや若年層の海外旅行への関心向上にも取り組んでいく。来日参加者には、日本の自然や文化、食などを実際に体験し、我が国の良さを感じていただきたい。



自由民主党 観光立国調査会 会長
参議院議員 鶴保 庸介氏

現在の訪日外国人客数の盛況は、かつて訪日外国人客数1000万人の壁を超えるべく活動していた日々から隔世の感がある。ここに至るまでに尽力してきた多くの観光関係者にあらためて感謝の意を述べたい。今後ありとあらゆる努力を持って、さらに受け入れ態勢を整え、海外のお客様を歓迎したい。自分もその先兵として活動していく所存だ。



前内閣総理大臣
衆議院議員 菅 義偉氏

訪日客数は過去最高ペースで伸び、2024年7月は330万人と単月記録を塗り替えた。観光は自動車産業と並ぶ日本の輸出産業となっている。今後は規制緩和、文化財利用促進、空港警備体制強化、人材育成、待遇改善なども、全力で応援していく所存だ。TEJが国家平和関係の強化に双方向交流の起爆剤になることも願っている。

ビデオメッセージ

メッセージ

一般社団法人全国旅行業協会会長
自由民主党観光立国調査会最高顧問
衆議院議員 二階 俊博氏

観光業は平和産業であり成長産業。国内旅行はコロナ禍前の2019年より1カ月早く約2400万人を記録し、消費額も8兆円に達する勢い。旅行目的地としての日本に海外の期待が高まっている。観光を通じた相互交流を深めることはさらに重要となっている。今日ここに集まった方々すべてがそれぞれ観光大使、PR大使として活動していただきたい。



駐日フィリピン共和国特命全権大使ガルシア・アルバノ氏が音頭を取り、参加者全員で乾杯



輪島市 御陣乗太鼓保存会による「御陣乗太鼓」(VTR 上映)



カタカリ・ダンス舞踊団によるインド伝統舞踊「カタカリ・ダンス」

フラッグハンドオーバーセレモニー

東京からツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸へ

次回TEJ2025 愛知・中部北陸の開催地となる愛知県にフラッグを手渡すフラッグハンドオーバーセレモニーが行われた。

東京観光財団の鈴木専務理事はインバウンドの好調について触れたうえで「今後もさらに国内外から大勢の旅行客が訪れるよう、観光の発展に貢献していきたい」と挨拶。高橋実行委員長は「愛知では初のTEJ。これから1年、関係者らと連携を密にし、開催を成功させたい」と語った。

開催地連絡協議会 会長・中部経済連合会の水野会長は「世界遺産の白川郷など、中部・北陸地方ならではの魅力を発信しながらTEJを通して日本全体の観光振興に寄与していきたい」と意気込んだ。

ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸は2025年9月25日 (木)～28日 (日)、セントレアに直結した「Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)」で開催予定。



【登壇者】

公益財団法人東京観光財団 専務理事 鈴木勝氏／ツーリズムEXPOジャパン実行委員長・一般社団法人日本旅行業協会 会長 高橋広行／ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸 開催地連絡協議会 会長・一般社団法人中部経済連合会 会長 水野明久氏

アポイントメント商談会

9月26日（木）・9月27日（金）10:00～18:00
東京ビッグサイト 東展示棟 東1～6ホール 各出展ブース

コロナ禍からの回復目指し昨年を上回るバイヤー・セラー（出展者）が参加 様々な事業者同士でつながり、地域への誘客を促進

日本の旅行会社をはじめとした、国内外のバイヤーとセラーが商談を行い、海外旅行や国内旅行、インバウンドなどの商品造成や情報交換を行う商談会を、9月26日（木）、27日（金）に実施した。コロナ禍を経て本格回復傾向にある国内旅行の需要をさらに取り込むと同時に、コロナ禍前の約6割にとどまる海外旅行への需要を喚起しようと、いずれも昨年を上回るセラー1,050人、バイヤー736人が参加。商談数は6,239セッションに上った。

TEJの事前マッチングシステムによって効率良くアポイントメントが設定されたバイヤーとセラーは、展示ホールの出展ブース内で商談を実施。出展者は、ブース内に商談しやすい雰囲気をつくったり、地域の魅力が伝わるように商談スペースをアレンジしたりと、工夫してバイヤーを迎えた。

国内ブースでは、有名観光地はもちろん、まだまだ知られていないとも独自性のある体験ができる観光スポットや観光素材について、セラーが熱のこもった説明をする様子が多く見られた。

これまでに数回参加したという出展者は「いろいろな事業者とつながるきっかけができる。他の出展者のブースを見てPRの参考にしている」、別の出展者は「海外関連の事業者は日本の地域の魅力をアピールできるのが良い」と商談会の意義を語った。

海外ブースでは、現地サプライヤーの担当者らが、資料を提示しながら現地の魅力を伝えていた。久しぶりにTEJに参加したという出展者は「瞬間的に日本からの観光客を増やすのではなく、長期的に呼び込める体制をつくりたい。地元の人がよく訪れるスポットなども含め、地域全体の魅力を伝えたい」と意気込んでいた。



商談会規模

セラー：1,050人

ツーリズムEXPOジャパン2024出展者／トラベルソリューション展2024出展者

バイヤー：736人

旅行会社／異業種バイヤー

商談セッション数：6,239セッション

インド政府観光省とサウジアラビア政府観光局が ランチレセプションを開催

インド政府観光省は9月26日（木）に、サウジアラビア政府観光局は9月27日（金）に、協賛者向け企画としてBステージにて商談会バイヤーやメディア関係者を対象にしたランチレセプションを開催。Bステージ前には現地の名物料理やドリンクが並び、ステージ上ではホテルや観光施設を紹介するプレゼンテーションなどが行われ、それぞれ新たな魅力をアピールした。

また、インド政府観光省は、9月27日（金）夕刻に展示ブース内でバイヤーを対象にしたオープンセッションも実施。より幅広い層にアプローチを図った。



国内エリアの出展者を対象に 在日外国人メディアとのビジネスセッションを実施

9月27日（金）には、メディアセンター内で訪日プロモーションに取り組む国内エリアの出展者を対象とした在日外国人メディアとの個別セッションが実施された。当日は、様々なメディアで日本の情報を発信している在日外国人メディア8人が参加。合計40セッションが行われ、出展者は国内各地のPRを行い、メディア関係者との交流を図った。

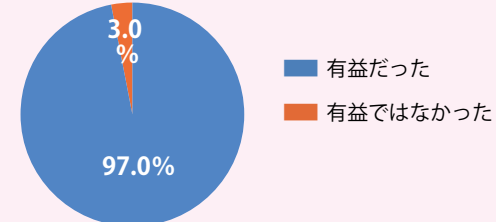
1セッション20分の予定を30分に変更するなど、インバウンド人気の高さがうかがわれる貴重な機会となった。



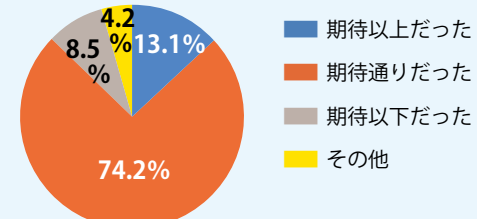
アポイントメント商談会参加者アンケート

セラーアンケート結果

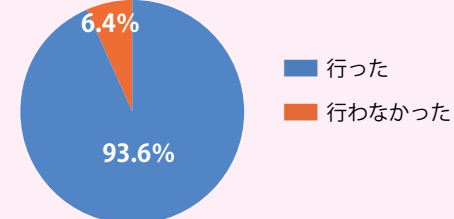
1. 商談会は有益でしたか？



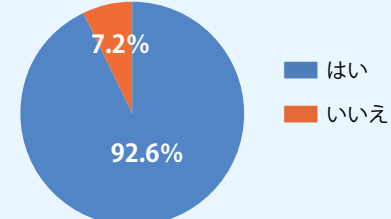
2. 期待していた内容の商談ができましたか？



3. アポイントメント以外の商談を行いましたか？

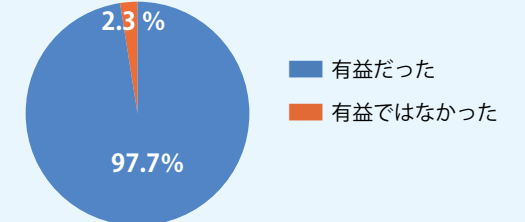


4. 商談したいバイヤーとアポイントメントは入っていましたか？

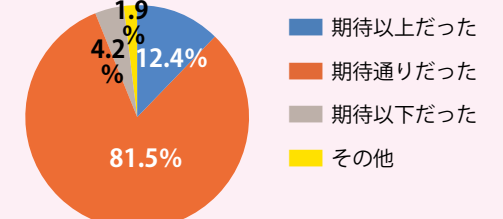


バイヤーアンケート結果

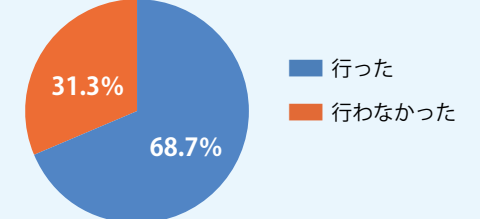
1. 商談会は有益でしたか？



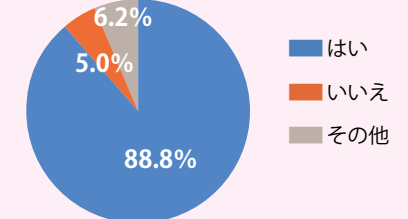
2. 期待していた内容の商談ができましたか？



3. アポイントメント以外の商談を行いましたか？



4. 商談したいセラーとアポイントメントは入っていましたか？



バイヤーの参加目的と影響力

バイヤーの参加目的を複数回答で調査した結果、「新規商品の情報収集・仕入」と回答した割合が最も高く81.9%あり、その他の結果は右の通りであった。また、商談後の「商品造成・送客」に影響があるかの問いには、87%のバイヤーが「はい」との回答であった。

■商談会参加目的（複数回答）

新規商品の情報収集・仕入 81.9%

取引先開拓 52.9%

セラーからのマーケット・デステイネーション情報収集 56.8%

VISIT JAPANトラベル & MICEマート(VJTM) 2024

主催：日本政府観光局（JNTO）
後援：国土交通省 観光庁

9月26日（木）～28日（土）の3日間、東7ホールではTEJとの合同開催事業としてVJTM2024 が開催された。9月27日（金）にはTEJとの連携プログラムとして、ランチタイムを利用したTEJ場内ツアーを5コース実施。「北海道エリアコース」「東北エリアコース」「大阪・関西万博+京都エリアコース」「酒蔵ツーリズムコース」「東京の離島（伊豆諸島）」を設定し、計74人が参加した。参加者からは「関西万博のチケット入手方法を詳しく聞いた（万博）」「日本酒の試飲はとても良かった（酒蔵）」「たくさんの自然が残っていて、とても魅力的だ（離島）」などの感想が聞かれた。

また、9月28日（土）から、北海道をはじめ東日本を中心とした一般コース10コースに加え、関西、金沢・軽井沢エリアのMICEコース2コースのファムトリップも実施された。

国内セラー：300社・団体
海外バイヤー：275社（35カ国・地域）
商談件数：8,296セッション



ツーリズムEXPOジャパン NIKKEI トラベルソリューション展2024

9月26日(木)・27日(金) 10:00~18:00 東京ビッグサイト 東展示棟 東6ホール

●主催：ツーリズムEXPOジャパン、日本経済新聞社

安全で快適な旅をサポートするテクノロジーが集結

ツーリズムEXPOジャパンと日本経済新聞社が共催するB to B 見本市「トラベルソリューション展2024」が9月26日(木)・27日(金)の2日間にわたって開催された。

ツーリズムEXPOジャパンのフェア in フェアとして行われ、観光事業者向けのソリューションを提案する企業48社・団体が出展。VR(仮想現実)・AR(拡張現実)を含むXR(クロスリアリティ)やAI(人工知能)、ITプラットフォーム、データ収集といった技術や翻訳、運送など安全で快適な旅をサポートするサービスをPRした。また、ツーリズムEXPOジャパン出展者とマッチングシステムを活用し、アポイントメント商談会が行われた。

大手企業だけでなく、独自の技術を駆使したサービスを展開す

るスタートアップ企業なども出展。XRによるバーチャル旅行体験や多言語対応のモバイルチケットシステム、人手不足解消のためのリモート接客システム、周遊に最適な速度で公道を走る低速小型EV車、ドローンの遠隔操縦による旅行体験、人流データの分析など様々なサービスが展示された。

インバウンド事業者に興味を持ってもらおうと初出展した企業の担当者は「好評で良かった」、別の初出展者は「観光関連の事業者が集まるため、PRに役立つ」と話した。昨年大阪に続いて参加した企業の担当者は「システムを利用してもらいたい事業者が出展者として参加しているのがいい。様々な協力をしていきたい」と意気込みを語った。

主な出展分野

DX 関連サービス (ITプラットフォーム、5G、Wi-Fi、IoT、位置情報、生体認証、仮想現実・拡張現実、AI (人工知能)、ロボット技術、自動翻訳など)、インバウンド受け入れサポートサービス、地域創生など



TS-003 株式会社 ナビタイム ジャパン	TS-004 株式会社 palan	TS-005 ワオ株式会社 (お弁当デリ)	TS-002 株式会社 テーブルクロス	TS-001 株式会社 TYO	ブルームーン・マーケティング株式会社	TS-011 Buralit (ブラリット)	TS-013 イリオスネット 株式会社	株式会社 インターネット イニシアティブ	TS-014 三井物産 エアロスペース 株式会社	TS-015 株式会社	ルックアウト ミュー テクノロジー	TS-020 日本 シーディー 株式会社	TS-025 日本 シーディー 株式会社	TS-026 株式会社 Wovn	TS-018 株式会社 toU	ヤマハ発動機 株式会社	TS-022 株式会社 D2C X	株式会社 AirSol	プロテクト グループ	TS-021	TS-029 株式会社 高島屋出版	TS-032 西村あさひ 法律事務所・ 外国法共同事業	株式会社 模本事務所	TS-030	TS-033 日鉄 ソリューションズ 株式会社	TS-034 株式会社 兼六	株式会社 JT B	金沢支店	TS-028 株式会社 AWAL	TS-036 株式会社 レシッパ	株式会社 ウィ・キャン	TS-040 株式会社 ボールドライト	株式会社 TOKI	TS-039 JCTV (日本ケーブル テレビジョン)	株式会社 テレコメディア	TS-042	TS-043	観光予報 プラットフォーム 推進協議会	株式会社 アイモバイル	TS-005	株式会社 JTB コミュニケーション デザイン	TS-050	株式会社 エアサーブ (阪急阪神東宝 グループ)	TS-046	株式会社 Red Dot Drone Japan	TS-053	トンガルマン 株式会社	TS-051 アルプス システム インテグレーション 株式会社	TS-049 株式会社 UP SPICE	TS-048 Flywire 株式会社	TS-052	株式会社 工房	TS-047 ティアック 株式会社	TS-037 株式会社 ソニックフロー
---------------------------------	-------------------------	-----------------------------	---------------------------	-----------------------	--------------------	------------------------------	---------------------------	----------------------------	-----------------------------------	----------------	-------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------	-----------------------	----------------	-------------------------	----------------	---------------	--------	-------------------------	--------------------------------------	---------------	--------	----------------------------------	----------------------	--------------	------	------------------------	------------------------	----------------	---------------------------	--------------	--------------------------------------	-----------------	--------	--------	---------------------------	----------------	--------	----------------------------------	--------	-----------------------------------	--------	--------------------------------	--------	----------------	---	-------------------------------	---------------------------	--------	------------	-------------------------	---------------------------

展示会

9月26日(木)~28日(土) 10:00~18:00 9月29日(日) 10:00~17:00
東京ビッグサイト 東展示棟 東1~6ホール

「わくわくは、無限だ。」のキャッチコピーにふさわしい価値ある旅のカタチを提案!

2年ぶりの東京開催となった2024年は、10年ぶりの出展となるギリシャやネクストデスティネーションとして期待が高まるサウジアラビアをはじめ、海外からの出展者が約4割を占め、アウトバウンド復活の兆しが垣間見える展示会となった。また、開催が迫る2025年大阪・関西万博のPRブースも展開された。

特集エリア・特別コーナーでは、星空ツーリズム、ドライブツーリズム、アドベンチャーツーリズム、クルーズ、スポーツツーリズム、アカデミー、観光SDGs、旅の広場に、今年新たにテーマ型観光地展が加わり、テーマのある旅の提案を行った。

特集エリア

星空ツーリズム



ドライブツーリズム



海外渡航自由化60周年パネル展

1964年に海外渡航が自由化され、今年で60周年。海外旅行の素晴らしさを30年余にわたりテレビ番組で伝えてくれた兼高かおるさんの貴重な写真、旅アイテムとともに海外旅行の軌跡を振り返るパネル展や、日本最古の旅券(レプリカ)の展示を実施。TEJ2024スペシャル・サポーターの山口智子さんプロデュースによるプロジェクト「LISTEN.」の企画展示も行われた。



特別コーナー

アドベンチャーツーリズム



クルーズ



スポーツツーリズム



アカデミー



観光SDGs



テーマ型観光地展



旅の広場



特別コーナーステージ





 グランプリ
 準グランプリ
 特別賞
 実行委員長賞

ブースグランプリは各出展ブースの中から来場者の投票により、展示会を盛り上げたブースを選出する表彰プログラムです。審査のポイントは「心を動かされる（印象に残る）・ワクワクする内容であったか」「ブース訪問前後でその国・地域・企業・団体の印象が大きく変わったか」「スタッフの接客やホスピタリティが充実していたか」「オリジナリティ溢れるブースデザイン、魅力的な演出であったか」「SDGsへの取り組みが行われていたか」の5つ。

業界日の投票で選出される「旅のプロが選ぶブースグランプリ」と一般日の投票で選出される「旅の愛好家が選ぶ ブースグランプリ」の2部門で、グランプリ（2出展者）、準グランプリ（2出展者）、特別賞（2出展者）、実行委員長賞（2出展者）の全8団体が選出されました。

 グランプリ
ハワイ州観光局

 準グランプリ
 公益社団法人北海道
 北海道旅客鉄道株
 北海道エアポート株



 特別賞



 実行委員長賞
インド政府親善大使賞





～旅の愛好家を選ぶ ブースグランプリ～

一般日の投票にて決定！ (投票者：一般日来場者)

グランプリ 韓国観光公社

準グランプリ 台湾観光協会

特別賞 飲泉・自家源泉かけ流し 観音温泉

実行委員長賞 東洋大学国際観光学部



内覧風景



表敬訪問



観光SDGsスタンプラリー

9月28日(土)・29日(日)
東京ビッグサイト 東展示棟 東1~6ホール
協賛：株式会社ジェーシービー/
サウジアラビア政府観光局/成田国際空港株式会社

展示会場を回遊しながら、日本・世界各国のSDGsの気づきや学びを提供

「誰一人取り残さない」と、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現を目指し定められたSDGs(17の目標・169のターゲット)。

一般日の9月28日(土)・29日(日)には、観光事業分野における「SDGsの取り組み」を可視化し、展示会場内を回遊しながら「気づき」「学び」の機会を提供するスタンプラリーが行われた。

会場内にあるQRコードからスマートフォンで観光SDGsスタンプラリーにエントリー。ブースのQRコードを読み込みながら会場を巡り、合計10個のスタンプを取得するとゴールにて本企画に参画した出展者が提供する景品の抽選ができる「楽しみ」を加えた回遊企画。

会期中約7,000人が様々なブースに足を運び、楽しみながら知識を深め、抽選会也大いに盛り上がった。



ふるさと応援フェスタ in ツーリズムEXPOジャパン

9月28日(土)・29日(日)
東京ビッグサイト 東展示棟 東6ホール

能登半島地震復興応援フェアに多くの人が駆けつける
地域活性化に欠かせない「ふるさと納税プロモーション」も

2024年のTEJは、北陸地方を中心とした被災地支援、復興支援の役割も担った。一般日の28日(土)・29日(日)には、「ふるさと応援フェスタ in ツーリズムEXPOジャパン」を開催。「能登半島地震復興応援フェア」では、特産品の販売や観光資源の紹介など能登の魅力を発信。

例えば、地震に加え、9月の記録的な大雨でも再び被害を受けた輪島市の輪島塗の販売コーナーには、多くの来場者が足を止め、文化や歴史だけでなく、現地の様子を尋ねて温かい言葉

をかける様子が見られた。会場内には、震災パネル展や募金箱も設置され、義援金額334,256円は日本赤十字社を通じて被災地に寄付された。

また、ふるさと納税は今や規模が年々拡大し、地域活性化に欠かせない存在となっている。「ふるさと応援フェスタ」では、「ふるさと納税プロモーション」も実施。全国各地から多くの自治体が出展し、地域の魅力や制度の詳細についてブースに立ち寄った人の相談に乗った。



出展者レセプション

9月27日(金) 夕刻からは、出展者ブースで関係者を招いたレセプションが行われた。



ステージスケジュール

各国・地域の個性あふれるパフォーマンスとイベントで旅の魅力を発信し、観客を魅了！

9月28日 [土]	A ステージ 東4ホール	B ステージ 東3ホール
	10:40～11:10 呉市公式キャラクター「呉氏」によるダンスPR& 呉市の紹介 with プンカッキー 呉市公式キャラクター「呉氏」と呉市職員/「プンカッキー」by 広島観光コンベンションビューロー	11:20～11:50 電動シグライダーの社会実装に 向けた取り組みについて 日本航空株式会社 飯本 祐介
	11:20～11:50 ハワイ州観光局 presents ウクレレパフォーマンス ジョディ&ホノカ	12:10～12:40 南アフリカのリズムに合わせてレッツ・エンジョイ！ ドラムカフェ 南アフリカ観光局
	12:10～12:40 とっとり知っとる？ 鳥取県ってこんなところ とっとり観光親善大使/いろどり日和 (鳥取しゃんしゃん傘踊り連) トリピー (鳥取県PRキャラクター)	13:00～13:30 タヒチの島々 魅惑のタヒチアンダンス タヒチプロモーション
	13:00～13:30 HOKKAIDO LOVE!北海道観光PR 北海道観光PRキャラクターキュンちゃん/北海道 公益社団法人 北海道観光機構	13:50～14:20 世界が認めた隠岐の魅力 野邊 一寛 一般社団法人 隠岐ジオパーク推進機構 梶野 幸太 一般社団法人 隠岐ジオパーク推進機構
	13:50～14:40 山口智子トークイベント『地球を楽しむ仲間達』 ツーリズムEXPOジャパン2024 スペシャル・サポーター 山口 智子 兼高かおる基金代表理事 長内 恵子 放送作家、脚本家 小山 薫堂	14:40～15:10 街が私が育つ旅、「いくたび」(第2のふるさとづくりプロジェクト) 観光庁
	14:50～15:20 NEW DAY, NEW LIGHT. 日光 魅力あふれる日光市 日光市長 粉川 昭一/日光市観光協会長 八木澤 哲男 国立公園事務所長 速水 香奈/日光猿軍団「猿まわし」	15:30～16:00 中国伝統芸能～変面、西游、西安鼓楽など～ 一般社団法人 アジア芸術文化促進会 (出演者：王 文強) 中国本国からの民族舞踊団
	15:30～16:00 フィジーから来日のVOUによる幸せあふれるパフォーマンス フィジー政府観光局&フィジーエアウェイズ	16:10～16:40 空手発祥の地・沖縄 沖縄県文化観光スポーツ部空手振興課
	16:10～16:40 ペルーの国民舞踊 ソルレイル・ペルビアンダンススクールジャパン	16:50～17:20 グアム チャモロ ダンスショー グマ・タオタオ キナフル アッダオ ナ タノ
	16:50～17:20 和歌山を楽しもう！～知らないオドロキが色々色々～ 熊野本宮観光協会/南紀白浜観光協会/由良町観光協会	17:30～18:00 リトアニア式伝統サウナ「ビルティス」マスター来日！ リトアニアのビルティスってどんなもの？ 駐日リトアニア大使とビルティスマスターのトークショー リトアニア政府観光局/リトアニアサウナマスター協会/駐日リトアニア共和国大使館

9月29日 [日]	A ステージ 東4ホール	B ステージ 東3ホール
	10:10～10:30 インド東部 西ベンガル州より来日公演！ 東インドの仮面舞踊フルリア チャウ舞踊団 インド政府観光省/インド政府文化交流評議会 (ICCR)	10:10～10:30 ブルネイ ダルサラーム 伝統芸能/ インフルエンサー「ちびっとカップル」のトークショー ブルネイ政府観光局
	10:40～11:10 徳川家康と服部半蔵忍者隊® 演武ステージ 愛知県/徳川家康と服部半蔵忍者隊®	10:40～11:10 四国クイズに挑戦！～四国のゆるキャラ達も登場！～ 四国
	11:20～11:50 板上忍トークショー ～韓国グルメと咸安(ハマン) 落火ノリ祭り～ 板上 忍	11:20～11:50 成田空港の若手空港従業員とランパンブスが語る！ “成田空港の仕事の魅力”トークイベント ランパンブス (吉本興業株式会社所属) /空港ターミナルサービス株式会社/ 株式会社JALスカイ/株式会社セノン
	12:10～12:40 奄美群島の民謡～シマ唄～ 田向 美春/成瀬 栄倫	12:10～12:40 夢の海外スキーの旅カナダ・スイス フェロースキー(株式会社フェロートラベル)
	13:00～13:30 フィリピン民族楽団 ルマド ジャパン	13:00～13:30 ベトジェットエア クイズ大会&『ちびっとカップル直伝！ ベトナムハノイで知らなきゃ損！』 ベトジェットエア
	13:50～14:20 「日本の星空保護区 ～満天の星が奏でる 心に響く感動“旅”～」 星空保護区認定地協議会	13:50～14:20 「ガイドブックには載ってない穴場台湾の楽しみ方！」 by 台湾在住フォトグラファー安田 夏樹 & 台湾日和主催 洪 正光 (クイズに答えてタイガーエア台湾オリジナルグッズや、セレクト Tシャツが当たるかも) タイガーエア台湾
	14:40～15:10 アイヌ古式舞踊公演とアイヌ伝統楽器の演奏 ウボボイ (民族共生象徴空間)	14:40～15:10 ビビビビ、台湾！ TAIWAN- Waves of Wonder ～台湾魅力・驚き喜び無限大～ 台湾観光代表舞踊団・FOCA フォルモサ・サーカス・アート
	15:30～16:00 アーティスト・イン・レジデンス・パフォーマンス 株式会社遊覧座	15:30～16:00 スカイマーク×茨城空港×宮古島PRステージ (おみたん・みーやも出るよ！) スカイマーク/茨城空港/宮古島観光協会
	16:20～17:00 グランドフィナーレ ご当地キャラクターが大集合！	

フードコート
(Food Court)大人気のキッチンカーをはじめ
世界中の国・地域、日本のご当地グルメが勢ぞろい！

TEJ2024には、12台のキッチンカーと2ブースの店舗が出店。ケバブやキューバサンド、バインミー、クロコダイルレッグ、ブラジリアンドッグ、ローストビーフビビンバ、チャモロ風ハンバーガーといった世界各国・地域の珍しい料理をはじめ、富士宮やきそば、大分県中津鶏からあげ、竹炭ホットドッグ、ラフティ丼、沖縄タコライス、ローストビーフ丼などバラエティに富んだグルメが勢ぞろいし、旅先の楽しみのひとつ

なる「食」から次なる旅行への思いをかきたてるコーナーとなった。

また、トルコアイスや糸ピンス、クレープ、チョコ入りチュロス、たいやきアイスなど、スイーツメニューも充実。各店には長い行列ができ、人気メニューは早々に完売となっていた。

フードコート内には食欲をそそるにおいが立ち込め、グルメを求める来場者でにぎわいを見せた。



閉会式／グランドフィナーレ

9月29日(日) 16:20～17:00
東京ビッグサイト 東展示棟 東4ホール Aステージ2年ぶりの東京、目標上回る182,934人を記録し、閉幕
2025年は初となる愛知で開催

東京で2年ぶりの開催となった今年は、海外80カ国・地域、国内47都道府県からの出展があり、4日間で当初目標を上回る182,934人という入場者数を記録した。商談会には736名のバイヤーと1,050名のセラーが参加。商談件数も6,239件、出展小間数も1,624小間に上った。まさに日本市場が新しく進化している姿を共有する、充実した観光見本市となった。

閉会式で挨拶に立った高橋広行実行委員長は「コロナ禍を経て、日本の観光が復活・発展していく姿を世界にアピールすると位置づけ、その通りになった」と大成功を強調。ジェーシービーの岡崎正明氏は「出展者、参加者の旅に対する熱い思いを至るところで感じた。今後も時代の変化に合わせてながら、さらに成長する機会になれば嬉しい」などと語った。また、インド政府観光省のV.ヴィダヤティ観光庁長官が「今回の参加は、日本および世界のツーリズムコミュニティとの関係強化に対するインドの姿勢の表れ。戦略的パートナーとして、両国で観光事業機会の拡大につながることを願っている」とメッセージを寄せた。

ステージでは「ブースグランプリ」表彰式も行われた。それぞれ投票で旅のプロが選ぶ業界日、旅の愛好家が選ぶ一般日の2部門で選出。グランプリ、準グランプリ、特別賞、実行委員長賞の計8団体が受賞した。最後は毎年恒例、全国のご当地キャラクターも集合し、盛大なグランドフィナーレを執り行うとともに、2025年に初となる愛知での再会を約束して閉幕した。



※受賞ブースの写真紹介は、P17～19を参照。



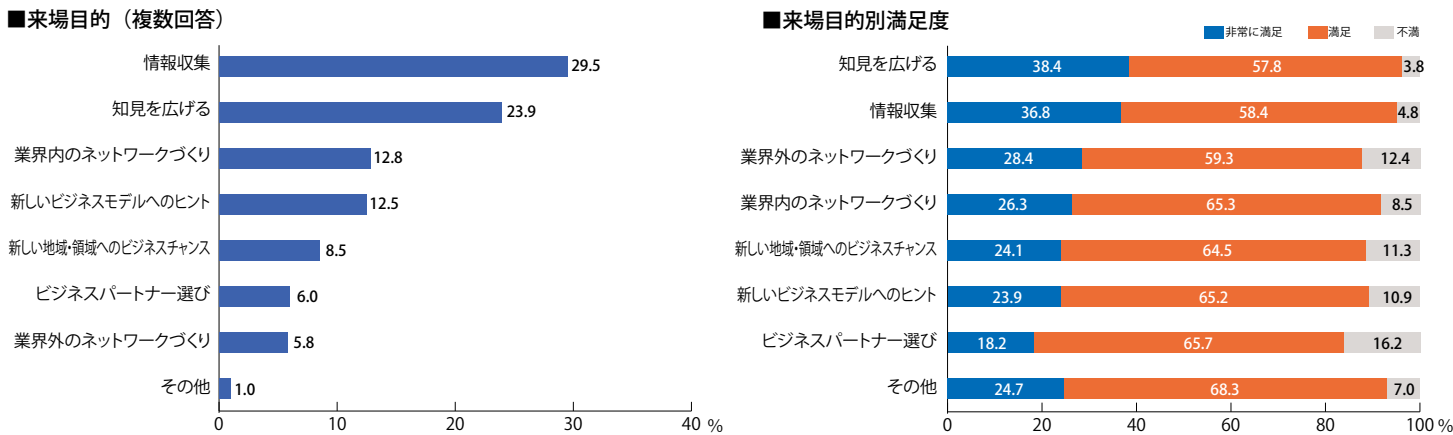
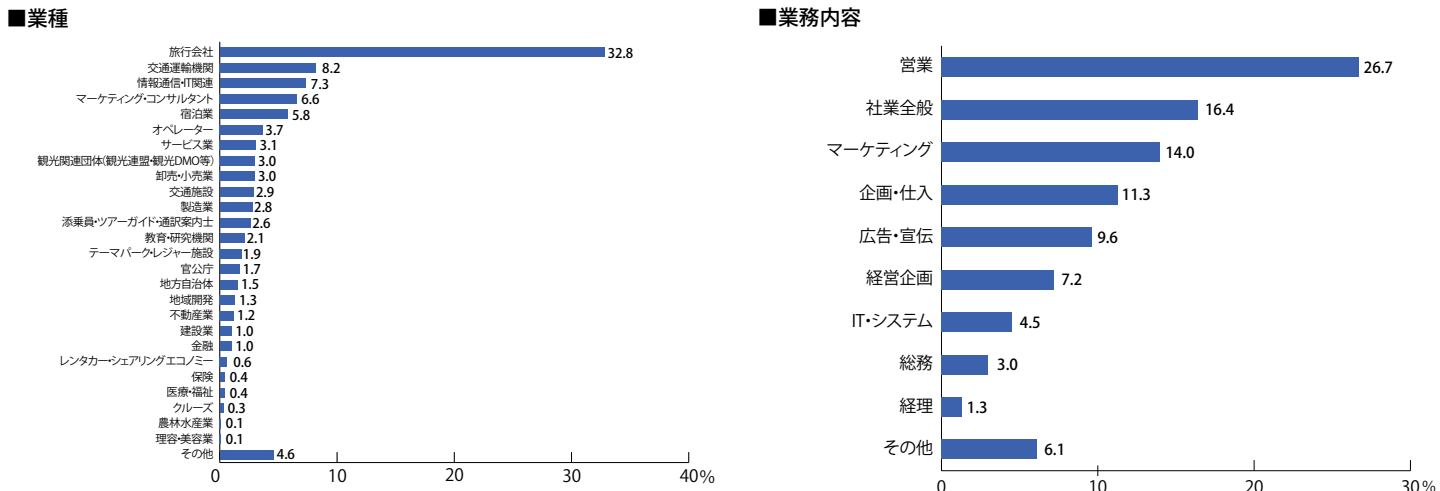
登壇者

〔閉会式〕岡崎正明氏(株式会社ジェーシービー 取締役 兼 常務執行役員)
高橋広行(ツーリズムEXPOジャパン 実行委員会 委員長)
メッセージ: V. ヴィダヤティ氏(インド政府観光省 観光庁 長官)
代読: イラサド・アラム氏(インド政府観光省 副長官)

〔グランドフィナーレ〕出展者(全国・各地のご当地キャラクターなど)

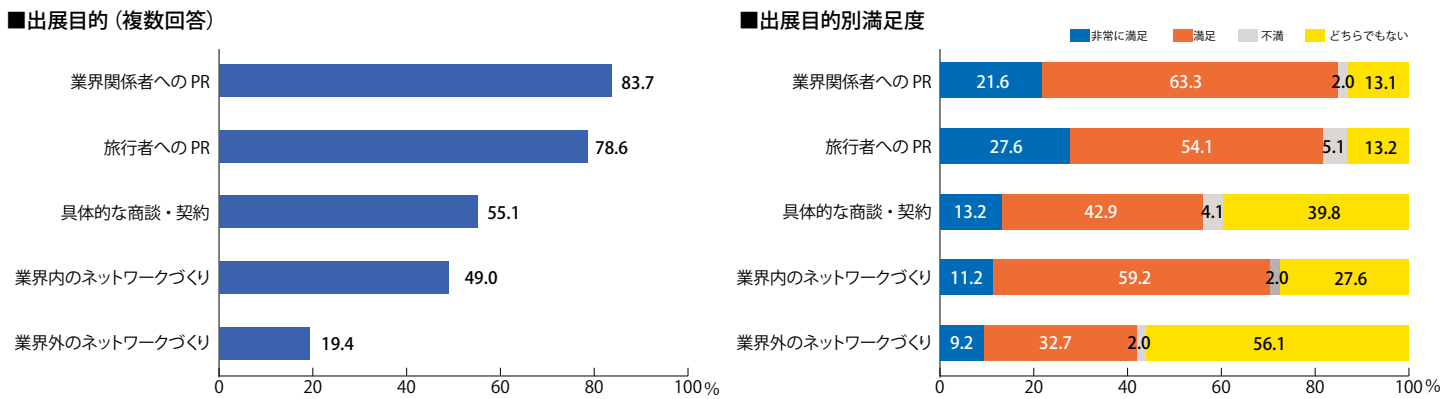
業界来場者アンケート (回答者数 1,028人)

来場者の業種は旅行会社が3割強と突出しているが、「交通運輸機関」「宿泊業」などの観光関連事業者に加え、「情報通信・IT関連」「マーケティング・コンサルタント」など、観光関連以外の業種からも注目度が高まっていることがうかがわれる。来場目的を見ると、「情報収集」「知見を広げる」に加え、「業界内のネットワークづくり」「新しいビジネスモデルへのヒント」など、より積極的な目的を持った来場者も多く、来場目的別満足度も8割から9割以上と高い結果となっている。



出展者アンケート

出展目的は「業界関係者へのPR」が8割強、「旅行者へのPR」が8割弱と、業界日、一般日ともにPR効果を求める出展者が多いことがわかる。また、出展目的別満足度をみると、PRに関しては8割以上の出展者が「非常に満足」「満足」と回答し、展示商談会の満足度は非常に高いことがうかがわれる。



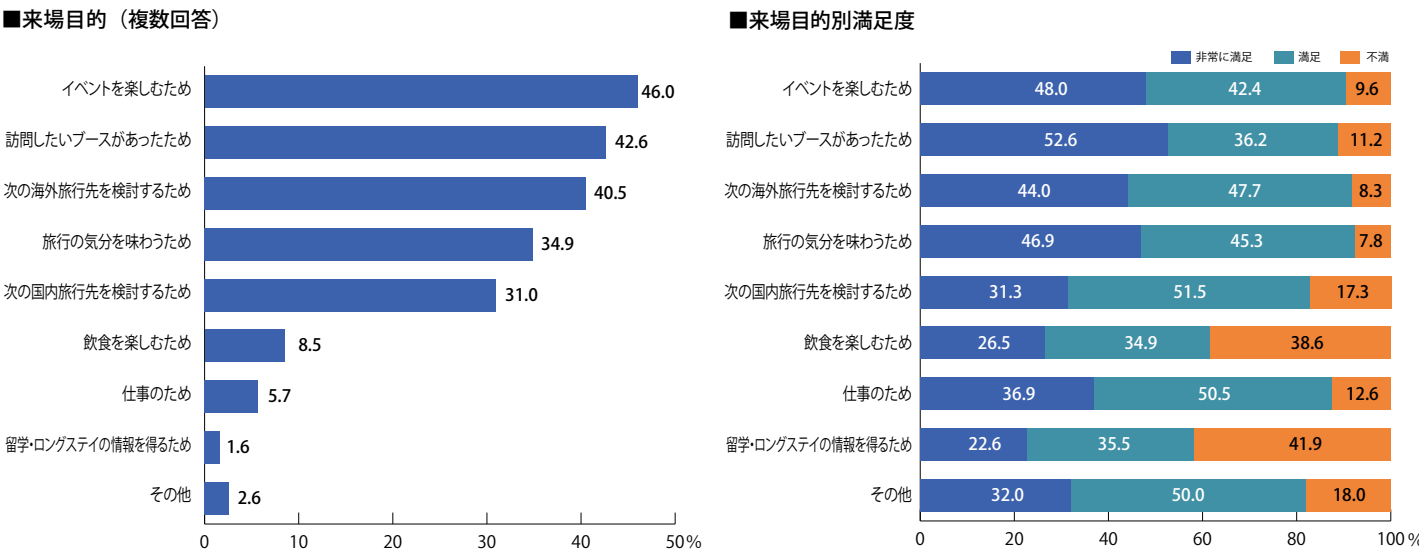
今回の出展で得られた成果

- ・業界内外での認知を非常に多く獲得することができ、商談外でもブース内にてネットワークが広がった。
- ・認知度アップのためにフォローウ獲得を行ったが、目標の1.5倍を獲得することができた。
- ・商談会のアポイント総数は前年をはるかに上回った。
- ・国内のエージェントとの商談はもちろん、インバウンドエージェントとの商談も行えた。
- ・有力なインフルエンサーが高い関心を示し、好条件でのお付き合いができることになった。
- ・団体での送客を検討してくださるインバウンド旅行会社が増数現れた。
- ・業界からの反応が良く、また今業界が望んでいるものも見えてきた。
- ・地域内でのお客様の受け入れ体制の整備などの必要性を感じた。
- ・小さなブースでも興味を持って多くのお客様がブースにお越しいただき、新規利用者を増やす意味では効果があった。
- ・他の関係組織と共同出展することで連帯感が生まれ、需要喚起強化につながった。
- ・まだあまり知られていないデスティネーションなので、少しでも知ってもらうことができて良かった。
- ・コロナ禍後の旅行者の旅行意欲の度合いを知ることができた。
- ・初めて行った物販が盛況であった。
- ・来場者とのコミュニケーションの中で、首都圏における当方のイメージ、知名度などの現状がよくわかった。
- ・様々な出展ブースを拝見し、発信の仕方や広いエリアでのPRを行うことで誘客につながると感じた。
- ・業界関係者との名刺交換や商談を通して、現状ニーズの把握や要望を直接聞くことができ、今後の業務の参考とすることができた。

一般来場者アンケート (回答者数 1,945人)

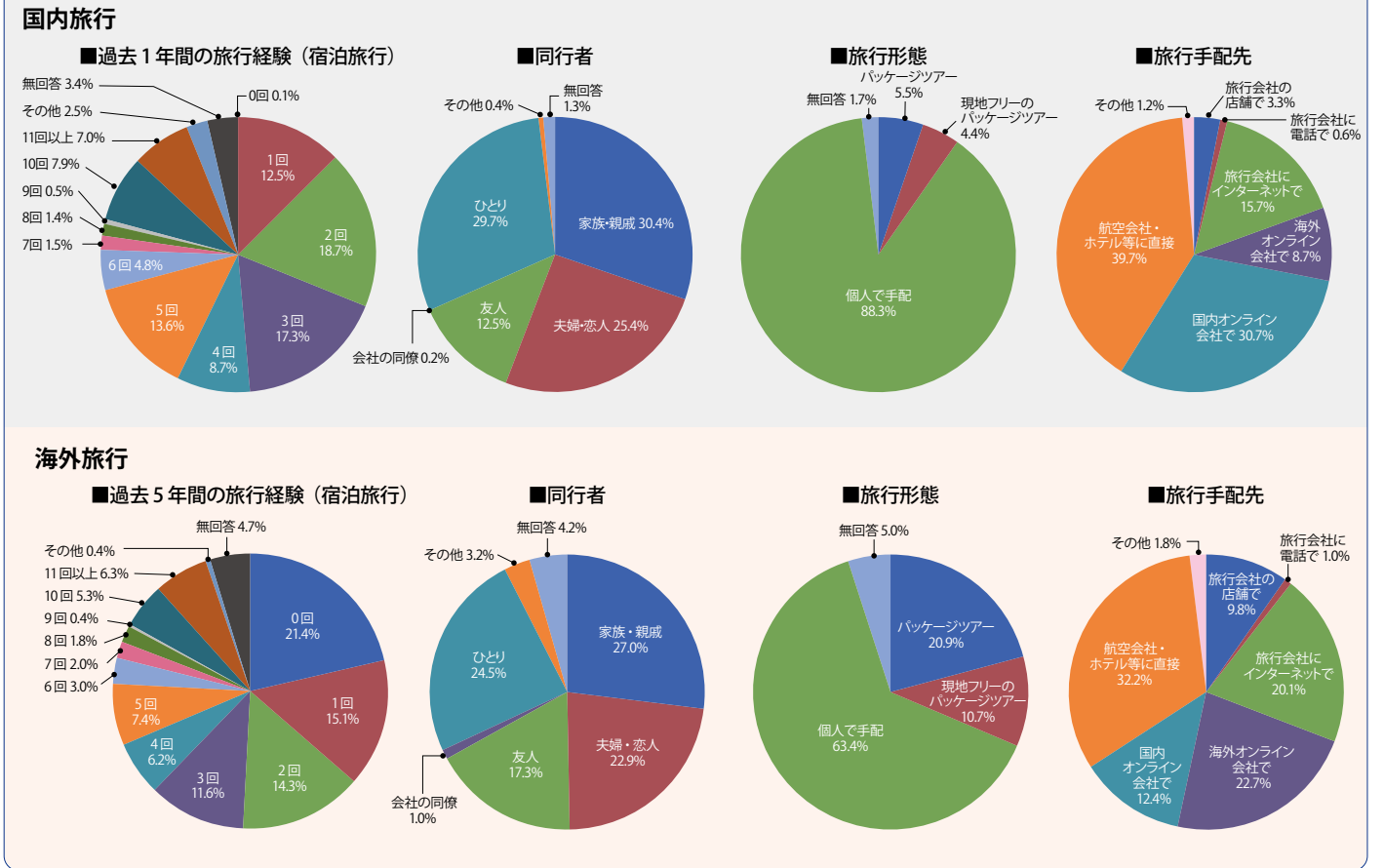
来場者の性別は、女性が53.6%と若干上回っているものの、男女比はほぼ半々となった。年代別では50代、40代、30代、60代、20代の順となっている。来場目的は「イベントを楽しむため」に次いで「訪問したいブースがあったため」「次の海外旅行先を検討するため」が4割強を占めるなど、目的意識の高い“旅好き”が多く来場し、総じて満足度も高い結果となった。

また、イベントそのものの楽しさや旅行気分を味わう場としても9割以上が「満足」と回答するなど、イベントとしての評価も非常に高かった。



一般来場者の旅行動向

国内旅行は過去1年間の旅行経験「2回」「3回」「5回」が、海外旅行は過去5年間の旅行経験「0回」「1回」「2回」を占めるものの、なかには海外旅行経験が100回を超える強者もいて、コロナ禍を経て旅行意欲が高まっていることがうかがえる。同行者では、国内・海外ともに「家族・親戚」「ひとり」「夫婦・恋人」が上位を占め、旅行形態も「個人で手配」が圧倒的に多く、個人旅行の割合が伸びている。旅行手配先としては「航空会社・ホテル等に直接」をはじめ、ネット予約が当たり前となっていて、「旅行会社の店舗」では10%を切る結果となった。



メディア総露出数：1,651件（4月～10月） 広告換算合計：427,012,138円
メディア来場：テレビ局、新聞社など主要メディアを含む998名が来場

記者会見 開催に向けて

- (1) 「ツーリズムEXPOジャパン2024」開催概要発表会見
開催日：6月11日（火）
場 所：日本旅行業協会 全通霞が関ビル4階 会議室
内 容：第1部 ツーリズムEXPOジャパン2024 開催概要について
第2部 ツーリズムEXPOジャパン2025 開催地について
出席メディア：22媒体23名（新聞3媒体、通信社2媒体、業界14媒体、WEB1媒体、その他2媒体）
- (2) JATA定例記者会見
開催日：9月19日（木）
場 所：日本旅行業協会 全通霞が関ビル4階 会議室
内 容：ツーリズムEXPOジャパン2024実施概要、注目のブース最新情報
出席メディア：12媒体13名（テレビ1媒体、一般3媒体、業界8媒体）
- (3) 開催初日主催団体記者会見
開催日：9月26日（木）
場 所：東京ビッグサイト 会議棟 国際会議場
内 容：開催概要更新情報、展示の見どころ、スペシャル・サポーター紹介
出席メディア：35媒体51名（テレビ3媒体、新聞・通信社4媒体、業界28媒体）

新聞・雑誌：227件

読売新聞（大阪）9月27日（金）



観光経済新聞 9月23日（月）



テレビ：6局15番組（9月～10月）



SNSでの告知協力

- ◆広報部会員各社 一斉投稿 全国各地におけるイベントの認知向上、業界一丸となり、旅行機運を盛り上げるため、部会員各社の公式SNSにて開催告知の一斉投稿を9月12日～19日、9月20日～26日に実施。
- ◆投稿（投稿抜粋）



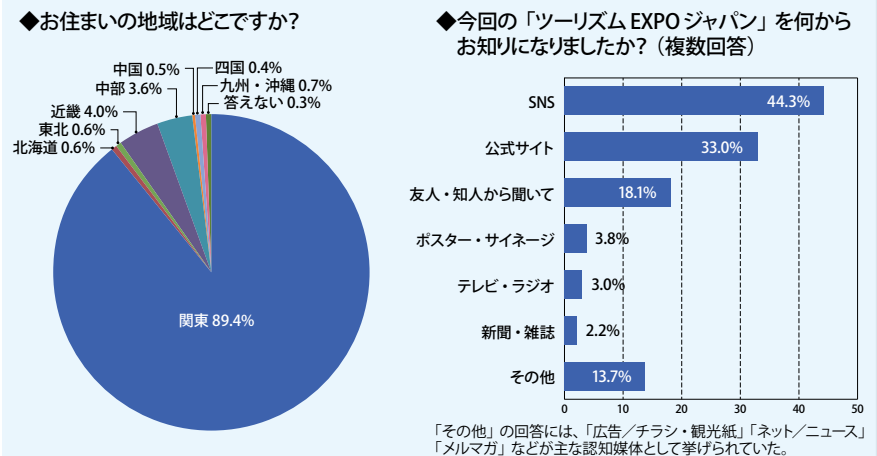
掲出実績（一部）



その他告知協力



一般来場者の居住地域とイベント認知経路



ツーリズムEXPOジャパン2024 及び VISIT JAPANトラベル&MICEマート2024 スケジュール

日	会場	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
9月26日 (木)	会議棟7F 国際会議場		第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」表彰式 10:10～11:00	2025年大阪・関西万博記者会見 11:35～11:45 主催者団体記者会見 11:10～11:35		基調パネル ディスカッション 13:15～14:30		第7回TEJ観光大臣会合 14:45～16:45				
	東展示棟 東1～6ホール	開会式 9:30～10:00	展示商談会（業界・プレス日） 10:00～18:00									
			トラベルソリューション展2024 10:00～18:00									
				ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー 10:30～18:00								
	会議棟1F レセプションホール										WELCOME RECEPTION 18:00～19:30	
	東展示棟 東7ホール			VISIT JAPANトラベル&MICEマート（VJTM）2024 11:00～18:00								
9月27日 (金)	会議棟6F 605-608			国内旅行シンポジウム 10:30～12:00		海外旅行シンポジウム 13:00～14:30		第11回世界遺産サミット in EXPO 15:30～17:00				
	東展示棟 東1～6ホール		展示商談会（業界・プレス日） 10:00～18:00									
			トラベルソリューション展2024 10:00～18:00									
				ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー 10:30～18:00								
	東展示棟 東7ホール		VISIT JAPANトラベル&MICEマート（VJTM）2024 9:00～18:00									
9月28日 (土)	東展示棟 東1～6ホール		展示会（一般日） 10:00～18:00									
	東展示棟 東7ホール		VISIT JAPANトラベル&MICEマート （VJTM）2024 9:00～12:00									
9月29日 (日)	東展示棟 東1～6ホール		展示会（一般日） 10:00～17:00							閉会式／グランドフィナーレ 16:20～17:00		

開催テーマとキービジュアル

ツーリズムEXPOジャパン2024 開催テーマ

旅、それは新たな価値との遭遇

Travel, An Encounter With New Value Awaits

- (1) 新たな価値を生み出すイベントとして開催
- (2) 2025年大阪・関西万博を成功に導くイベントとして開催
- (3) 地域の持続可能な発展に貢献するイベントとして開催

キービジュアル クリエイティブコンセプト

今回のテーマは「旅、それは新たな価値との遭遇」。

かつてのように自由に時間を使えるようになった今、出会いや景色、新しく開発された観光コンテンツ等様々な「新たな価値」に出会える旅がクローズアップされています。

旅先での出会いや目の前に広がる景色、非日常から得られる開放感との「遭遇」をビジュアル化し「わくわくは、無限だ。」のキャッチコピーを添えることで新たな価値との遭遇に心が躍る、無限に広がる旅の可能性を表現しました。



運営／協賛・協力機関団体リスト

【主催】公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）
【特別協力】一般社団法人全国旅行業協会（ANTA）
【後援】国土交通省、国土交通省観光庁、総務省、外務省、スポーツ庁、文化庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、東京都、公益財団法人東京観光財団、独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）、一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所、東京商工会議所

【企画・運営】ツーリズムEXPOジャパン推進室

【協賛】

◎特別協賛

オフィシャルスポンサー：株式会社ジェーシービー
デスティネーションパートナー：インド政府観光省

◎展示商談会

プラチナスポンサー：サウジアラビア政府観光局
ゴールドスポンサー：フィリピン観光省
シルバースポンサー：ハワイ州観光局、全日本空輸株式会社、日本航空株式会社、スターラックス航空、日本空港ビルデング株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社、成田国際空港株式会社、東日本旅客鉄道株式会社
ブロンズスポンサー：株式会社オリエンタルランド、東京海上日動火災保険株式会社

賛助協賛：東海旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社

VIP関係者用バススポンサー：株式会社旅行綜研

◎WELCOME RECEPTION

シルバーパーターナー：全日本空輸株式会社、日本航空株式会社

協力：御陣乗太鼓保存会

（＊順不同）

組織委員会（委員名50音順）

〈委員長〉

菰田 正信 公益社団法人日本観光振興協会 会長

〈副委員長〉

高橋 広行 一般社団法人日本旅行業協会（JATA）会長
蒲生 篤実 日本政府観光局（JNTO）理事長

〈委員〉

赤坂 祐二 公益社団法人日本観光振興協会 副会長
日本航空株式会社 代表取締役会長
植田 明浩 環境省 自然環境局長
岡崎 正明 株式会社ジェーシービー 取締役 兼 常務執行役員
片野坂 真哉 公益社団法人日本観光振興協会 副会長
ANAホールディングス株式会社 取締役会長
金田 佳季 公益社団法人日本観光振興協会 副会長
株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド 代表取締役社長
桐山 謙一 BOAR（在日航空会社代表者協議会）議長
ユナイテッド航空会社 日本・ミクロネシア地区営業担当 支社長
桑野 和泉 一般社団法人日本旅館協会 会長
小谷野 悦光 一般社団法人日本旅行業協会（JATA）副会長
株式会社日本旅行 代表取締役社長

近藤 幸二

酒井 淳 一般社団法人全国旅行業協会（ANTA）副会長
一般社団法人日本旅行業協会（JATA）副会長
株式会社阪急交通社 代表取締役社長
武内 紀子 一般社団法人日本経済団体連合会 観光委員長
株式会社 コングレ 代表取締役社長
東京都 産業労働局長
文化庁 長官
東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役 マーケティング本部長
一般社団法人日本旅行業協会（JATA）副会長
株式会社風の旅行社 代表取締役

萩川 直也

原田 一之 国土交通省 観光庁 長官
一般社団法人日本民営鉄道協会 会長
京浜急行電鉄株式会社 取締役会長
カタルーニャ州観光局 アジア太平洋地域代表
経済産業省 商務・サービス審議官
スポーツ庁 長官
株式会社JTB 代表取締役 社長執行役員
東日本高速道路株式会社 代表取締役社長
駐日外国政府観光局協議会 会長

〈監事〉

天野 啓史 日本航空株式会社 監査役室マネージャー
田中 正人 田中正人税理士事務所 所長

実行委員会（委員名50音順）

〈委員長〉

高橋 広行 一般社団法人日本旅行業協会（JATA）会長

〈副委員長〉

最明 仁 公益社団法人日本観光振興協会 理事長

〈副委員長〉

高橋 広治 日本政府観光局（JNTO）理事長代理

〈委員〉

今泉 典彦 一般社団法人日本経済団体連合会 観光委員会企画部会長
株式会社第一生命経済研究所 総合調査部 研究理事
内元 清貴 グローバルコミュニケーション開発推進協議会 事務局代表
江村 信彦 東京都 産業労働局観光部長
蝦名 邦晴 一般社団法人日本旅行業協会（JATA）理事長
大前 圭司 全日本空輸株式会社 執行役員 CX推進室長 兼 グローバルマーケティング部長
坂元 隆 株式会社読売旅行 代表取締役会長
佐々木 真二郎 環境省 自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室 室長
清水 繁 東京商工会議所 地域振興部 部長
清水 哲夫 東京都立大学 都市環境学部観光科学科教授
金沢大学 先端観光科学研究所特任教授
鈴木 貴典 国土交通省 観光庁 審議官
鈴木 勝 公益財団法人東京観光財団 専務理事兼事務局長
中原 裕彦 文部科学省 文化庁 文化戦略官
西原口 香織 日本航空株式会社 執行役員 ソリューション営業本部 副本部長、東京支社長
長谷川 豊 公益社団法人日本観光振興協会 副理事長
橋場 健 スポーツ庁 審議官
藤原 健一 近畿日本ツーリスト株式会社 法人MICE事業部長
古澤 英樹 東日本旅客鉄道株式会社 観光戦略室 室長
本保 芳明 国連世界観光機関駐日事務所 代表
宮澤 伸 日本商工会議所 地域振興部 部長
村見 拓一 東武トップアース株式会社 執行役員 国内旅行部長
山口 剛志 株式会社JTB 執行役員 仕入商品事業部長
吉田 尚史 株式会社日本旅行 常務執行役員 営業戦略本部 統括副本部長
若松 務 日本政府観光局（JNTO）理事

（2024年9月1日現在）



ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸

「ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸」出展申込受付中!

2025年 **9/25_木 - 9/28_日**

開催時間 **業界・プレス** 25日_木 10:00～18:00 **一般** 27日_土 10:00～18:00
26日_金 10:00～18:00 28日_日 10:00～17:00

会場 Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)

主催 公益社団法人 日本観光振興協会、一般社団法人 日本旅行業協会 (JATA)、日本政府観光局 (JNTO)

合同開催 VISIT JAPANトラベル & MICE マート2025 / 主催: 日本政府観光局(JNTO) (予定)

共同開催 トラベルソリューション展2025 / 主催: ツーリズムEXPOジャパン、日本経済新聞社 (予定)

ツーリズムEXPOジャパン2024 開催実績

2024年来場者数

合計 **182,934**人
・9/26(木) 業界・プレス日 36,459人
・9/27(金) 業界・プレス日 35,359人
・9/28(土) 一般日 54,869人
・9/29(日) 一般日 56,247人

商談セッション数

6,239セッション

2024年出展者数

1,624小間 **1,384**企業・団体

参加セラー数

1,050人

参加バイヤー数

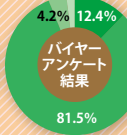
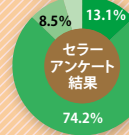
736人

商談会参加者アンケート

商談会は
有益でしたか



期待していた
内容の商談が
できましたか



料金表

出展料	申込締切日	基礎小間	スペース (敷地のみ)
	スーパー早期割引 (10%引き) 2025年1月10日 (金)	¥551,100 (税込) / 小間 (9㎡)	¥496,100 (税込) / 9㎡
	早期割引 (8%引き) 2025年3月14日 (金)	¥563,200 (税込) / 小間 (9㎡)	¥507,100 (税込) / 9㎡
	通常 2025年5月16日 (金)	¥612,700 (税込) / 小間 (9㎡)	¥551,100 (税込) / 9㎡

(注) 基礎小間、スペースの仕様は、ホームページにてご確認ください。スペース (敷地のみ) の場合は、36㎡以上のお申込にてお受けします。

お申込みは公式サイトから! <https://t-expo.jp/exhibit2025>

[問合せ先] ツーリズムEXPOジャパン推進室

E-mail: event@t-expo.jp TEL: 03-5510-2004

各種情報・資料等の閲覧、ダウンロードはこちら

公式ホームページ <https://t-expo.jp>